

## II 病院経営管理指標に関する調査研究結果

### 1. 平成 22 年度病院経営管理指標の概要

平成 22 年度病院経営管理指標の詳細については後述の「平成 22 年度病院経営管理指標」に示し、以下ではその概況を述べる。

注) 有効回答数が 5 以下の項目には、※印を付けている。※印の結果は、細かく分類することによって有効回答数が少ないため、一般的な認識とかい離した数値が出る可能性がある点に注意されたい。

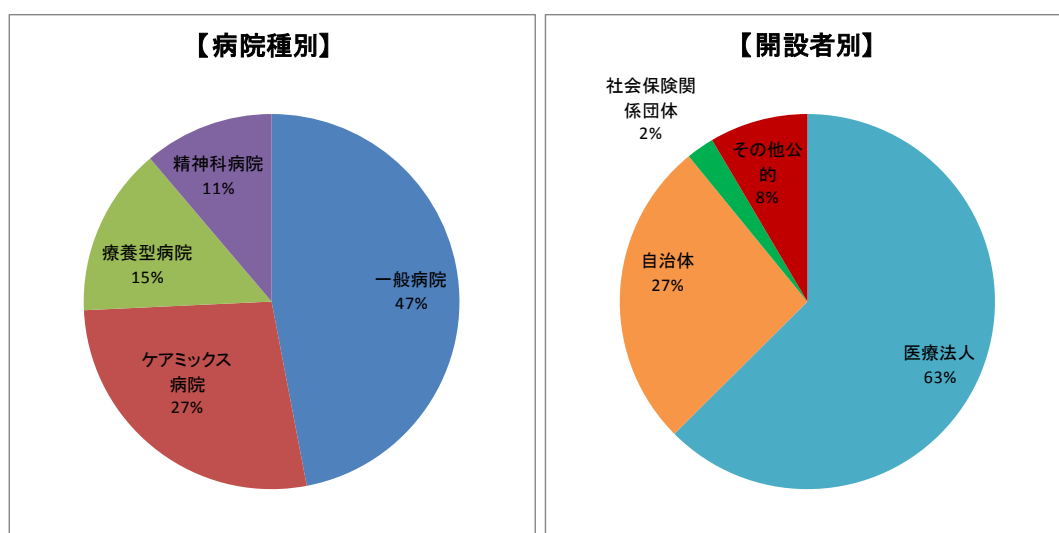
#### (1) 施設概況

本調査の集計対象施設を病院種別・開設者別に分類した施設数は、以下の図表 II-1 の通りである。病院種別では一般病院が 47%と最も多く、開設者別では医療法人が 63%と最も多い結果となった。病院種別・開設者別の 16 分類では、医療法人の一般病院が最も多く、20%を占めている。

図表 II-1 病院種別・開設者別施設数

(単位:施設)

区分	一般病院	ケアミックス病院	療養型病院	精神科病院	計
医療法人	337	320	238	167	1,062
自治体	318	106	7	20	451
社会保険関係団体	35	6	※0	※0	41
その他公的	108	31	※2	※3	144
計	798	463	247	190	1,698



## (2) 平均病床数

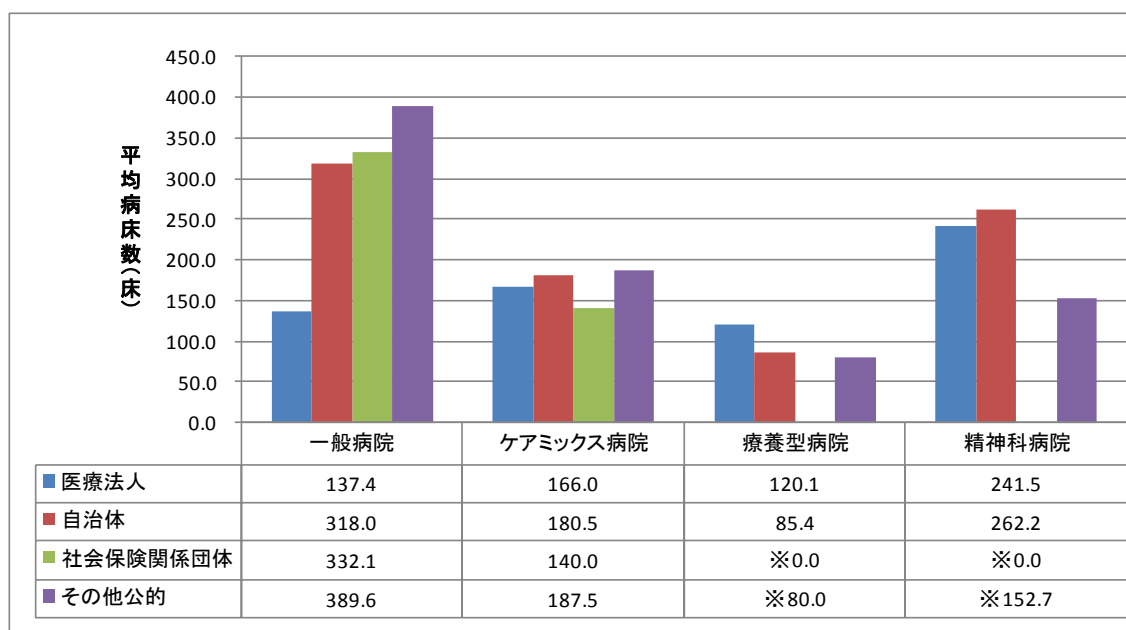
一般病院の平均病床数では、医療法人に対しそれ以外の開設主体（自治体・社会保険関係団体・その他公的）の規模が2.5倍程度大きく、医療法人に比べ公的病院の方が規模の大きいことが見て取れる。400床以上の大規模病院が占める割合では、医療法人の3%に対し医療法人以外の開設主体は36%であり、大規模病院が多いことが分かる。一般病院以外の病院種別では、開設主体別の平均病床規模においては大きな違いは見られない。

病床規模別による比較については、後述の(5)病床規模別比較において分析しているので参照されたい。

図表 II-2 平均病床数

(単位:床)

区分	一般病院	ケアミックス病院	療養型病院	精神科病院
医療法人	137.4	166.0	120.1	241.5
自治体	318.0	180.5	85.4	262.2
社会保険関係団体	332.1	140.0	—	—
その他公的	389.6	187.5	※80.0	※152.7



## (3) 黒字病院比率

黒字病院（経常利益が黒字）の比率は、以下の図表 II-3 の通りとなった。医療法人の黒字病院比率は、他の開設主体に対し高い結果となった。尚、過去からの推移については、後述する 2. 平成 16 年度から平成 22 年度（7 年間）の推移分析で述べる。

図表 II-3 黒字病院の比率

区分	一般病院	ケアミックス病院	療養型病院	精神科病院	計
医療法人	78.0%	84.6%	88.6%	81.5%	82.9%
自治体	59.3%	51.0%	28.6%	66.7%	57.0%
社会保険関係団体	64.7%	40.0%※	-	-	61.5%
その他公的	79.6%	46.7%	50.0%※	33.3%※	71.3%

#### (4) 一般病院における公民比較

本項目では、医療法人と公的病院（自治体病院・社会保険関係団体・その他公的）について比較・分析を実施する。

本年度（平成 22 年度）の経営主体別の平均医業利益率では、自治体病院を除いてプラスとなった。自治体病院は、他の開設主体に比べ人件費比率・委託費比率・金利負担率・職員一人当たり人件費等の費用項目が高いことが、医業利益率のマイナス計上を余儀なくされている要因と考えられる。総資本医業利益率においても医業利益率と同様に医療法人が高いが、医療法人は公的病院に比べ総資本回転率が高いこと（資産が効率的に活用されている）から、医療法人の総資本医業利益率の数値はより良い結果となっている。公的病院の資産効率が医療法人に対し低い要因としては、1床当たりの固定資産が医療法人に対し約 1.4~2 倍程度大きいことが一因と考えられる。（自治体病院の固定資産回転率が高い要因としては、土地・建物等の有形固定資産の簿価が極端に少ない病院も存在するためである。）

経費関係指標の材料費比率や医薬品比率は、医療法人に比べ公的病院が高く、コスト削減は医療法人が進んでいるものと思われる。医業収益に対する人件費の割合の人件費比率では、医療法人は自治体病院の次に高いが、職員 1 人当たり人件費で見られる人件費単価については、医療法人が最も低い結果であり、公的病院の人件費は医療法人に比べると高い水準にあるといえる。なお、公的病院については、「地域医療の確保」という側面から政策的医療や不採算医療への取り組みが求められており、人件費の高騰を招きやすいといったやむを得ない場合もあるものと思われる。ただし、人件費は、医業収益に応じて変動しない固定費であり病床利用率の低下等による収入減の際には、赤字計上を余儀なくされる要因にもなることから、職員数確保のために人件費の削減は難しい面はあるが、医業収益の 5 割以上を占めるコストであり、収益向上のためには注視していく必要がある。

単価である患者 1 人 1 日当たりの入院収益・外来患者 1 人 1 日当たり外来収益においては、医療法人に比べ公的病院が大きく、患者 1 人当たりの医業収益は公的病院が高いといえる。これは、病床規模が大きい病院の方が、患者 1 人当たりの医業収益は大きくなる傾向があり、公的病院は大規模病院が多いことが患者 1 人当たりの医業収益の高いことの要因として考えられる。一方で、医師 1 人当たり入院患者数・外来患者数は、医療法人が高く 1 人の医師が多くの患者を診ている。

患者 1 人当たりの単価は低いものの、より多くの患者からの収益を計上出来ている点に加え、医薬品を始めとした材料費比率等のコストを削減することが出来ている点が、医療法人

の医業利益率が公的病院に比べ高い一つの要因と考えられる。

図表 II-4 一般病院における公民比較

		一般病院			
		医療法人 (337)	自治体 (318)	社会保険関係団体 (35)	その他公的 (108)
(病院数)		(337)	(318)	(35)	(108)
(平均病床数)		(137.4)	(318.0)	(332.1)	(389.6)
<b>収益性</b>					
医業利益率	(%)	3.3	-13.2	0.1	2.0
総資本医業利益率	(%)	4.3	-11.9	0.3	2.3
経常利益率	(%)	3.7	-1.2	0.7	2.9
償却前医業利益率(補正指標)	(%)	7.3	-6.1	6.9	7.9
病床利用率	(%)	76.0	71.6	69.9	78.7
固定費比率	(%)	63.2	74.0	61.5	60.1
材料費比率	(%)	18.9	23.4	25.3	25.9
医薬品費比率	(%)	10.2	14.3	16.2	16.8
人件費比率	(%)	54.3	62.4	51.3	50.9
委託費比率	(%)	5.4	9.3	6.4	6.0
設備関係費比率	(%)	8.1	9.5	9.8	8.6
減価償却費比率	(%)	4.0	7.3	6.8	5.9
経費比率	(%)	9.0	7.2	6.1	5.3
金利負担率	(%)	0.9	2.1	0.4	0.6
総資本回転率	(%)	120.2	81.2	108.6	89.8
固定資産回転率	(%)	264.8	291.7	278.5	138.4
医師人件費比率計	(%)	12.7	14.6	12.6	12.5
看護師人件費比率計	(%)	17.6	22.7	18.5	19.0
その他職員人件費比率計	(%)	15.3	14.0	12.1	11.5
常勤医師1人当たり人件費	(千円)	18,789	17,159	13,873	15,497
常勤看護師1人当たり人件費	(千円)	4,700	5,238	4,861	4,963
職員1人当たり人件費	(千円)	6,385	7,850	6,965	7,167
職員1人当たり医業収益	(千円)	12,003	13,234	13,746	14,311
<b>安全性</b>					
自己資本比率	(%)	32.2	56.4	23.7	28.0
固定長期適合率	(%)	83.2	86.2	96.7	89.2
借入金比率	(%)	38.9	42.9	17.8	37.9
償還期間	(年)	12.3	7.5	5.6	5.9
流動比率	(%)	336.3	491.7	394.6	251.9
1床当たり固定資産額	(千円)	12,410	25,599	17,040	19,283
償却金利前経常利益率(補正指標)	(%)	8.6	8.1	7.8	9.4
<b>機能性</b>					
平均在院日数	(日)	27.65	30.35	14.49	17.45
外来/入院比	(倍)	2.64	1.94	2.19	1.81
1床当たり1日平均入院患者数	(人)	0.76	0.72	0.70	0.79
1床当たり1日平均外来患者数	(人)	1.77	1.32	1.49	1.42
患者1人1日当たり入院収益	(円)	42,415	42,425	45,253	46,372
患者1人1日当たり入院収益(室料差額除く)	(円)	41,180	41,802	43,813	45,432
外来患者1人1日当たり外来収益	(円)	10,754	11,649	12,869	13,062
医師1人当たり入院患者数	(人)	6.00	5.46	4.22	5.23
医師1人当たり外来患者数	(人)	11.88	9.87	8.98	9.31

### (5) 病床規模別比較

本項目では病床規模別に、医業利益率・人件費比率・材料費比率・医薬品費比率・病床利用率・平均在院日数・患者1人1日当たり入院収益について分析を実施した。グラフについては細かく分類しても、集計データが相当数の回答がある医療法人のみ対象とした。病床利用率・平均在院日数・患者1人1日当たり入院収益については、病院種別による違いが大きいため、一般病院での開設主体別グラフとした。

医業利益率は、医療法人の一般病院では400床以上の病院が最も高い結果であるが、病床規模に比例して医業利益率が高くなる傾向は見られないが、医療法人のケアミックス病院・療養型病院・精神科病院では病床の規模が大きいほど医業利益率は高い傾向となった。医療法人の一般病院の医業利益率が規模比例しない要因としては、地域の中核病院であり、また、救命救急等の高コストの医療を実施しているものと推測され、医薬品費比率を含めた材料費比率が規模の大きいほど高くなることが一因として考えられる。また、病床規模が大きいほど医療利益率が高い傾向は、自治体病院の一般病院でも見られた。

一般病院の平均在院日数では病床規模が大きいほど短い傾向が見られた。規模が大きいほどDPC対象・準備病院の割合が増加しており、DPC対象・準備病院の在院日数短縮が図られているものと思われる。一般病院の病床利用率及び患者1人1日当たり入院収益は、その他公的の病床利用率を除き、規模が大きいほど稼働率・単価共に高い傾向にあることがいえる。

図表 II-5 病床規模別比較（施設数）

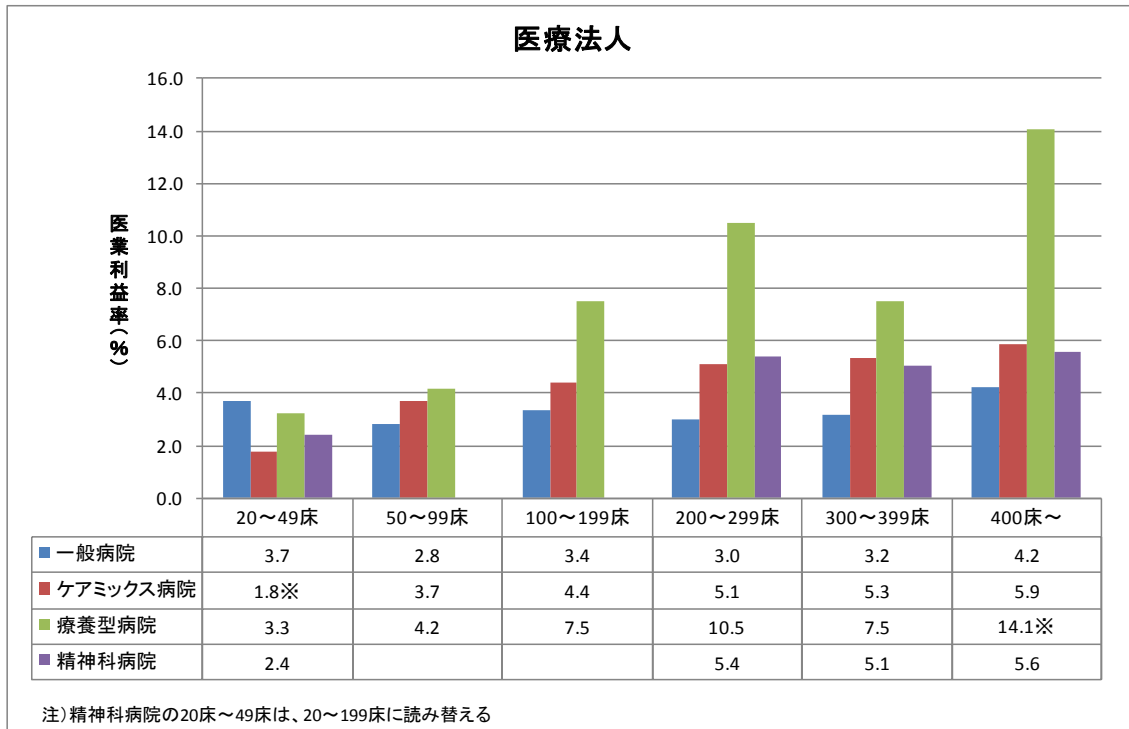
(単位:施設)

区分		一般病院	ケアミックス病院	療養型病院	精神科病院
医療法人	20～49床	79	4※	37	63
	50～99床	99	79	81	
	100～199床	89	179	83	
	200～299床	29	33	26	
	300～399床	30	11	8	
	400床～	11	14	3※	
自治体	20～49床	18	3※	2※	4※
	50～99床	38	41	3※	
	100～199床	64	37	1※	
	200～299床	38	6	1※	
	300～399床	52	8	0※	
	400床～	108	11	0※	
社会保険関係	20～49床	1※	1※	0※	/
	50～99床	0※	1※	0※	
	100～199床	10	2※	0※	
	200～299床	8	2※	0※	
	300～399床	3※	0※	0※	
	400床～	13	0※	0※	
その他公的	20～49床	1※	0※	0※	3※
	50～99床	3※	13	1※	
	100～199床	13	6	1※	
	200～299床	15	6	0※	
	300～399床	29	3※	0※	
	400床～	47	3※	0※	

図表 II-6 病床規模別比較 (医業利益率)

(単位: %)

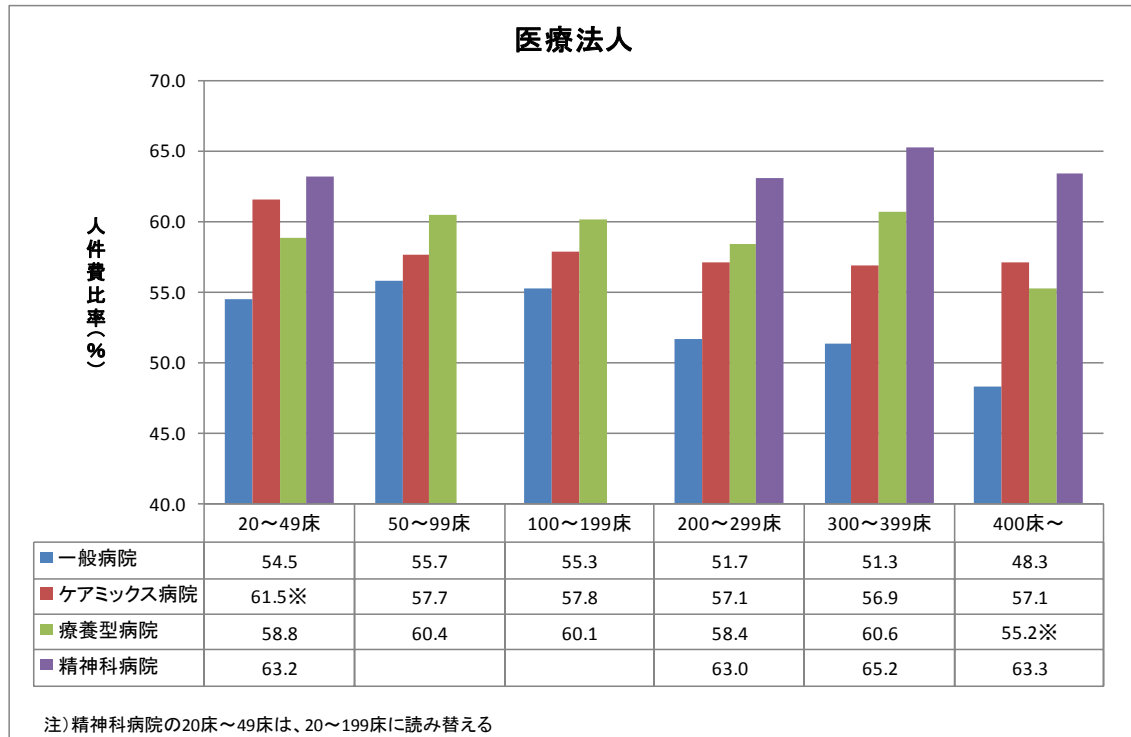
区分		一般病院	ケアミックス病院	療養型病院	精神科病院
医療法人	20～49床	3.7	1.8※	3.3	2.4
	50～99床	2.8	3.7	4.2	
	100～199床	3.4	4.4	7.5	
	200～299床	3.0	5.1	10.5	5.4
	300～399床	3.2	5.3	7.5	5.1
	400床～	4.2	5.9	14.1※	5.6
自治体	20～49床	-31.3	-36.1※	-36.3※	-22.9※
	50～99床	-27.2	-23.7	-43.2※	
	100～199床	-20.5	-12.4	-0.5※	
	200～299床	-11.9	-7.8	-9.4※	-45.8
	300～399床	-7.7	-26.4	—	6.6※
	400床～	-5.3	-14.8	—	—
社会保険 関係	20～49床	—	-28.5※	—	/
	50～99床	—	—	—	
	100～199床	-4.5	-3.0※	—	
	200～299床	2.4	0.5※	—	
	300～399床	3.4※	—	—	
	400床～	1.4	—	—	
その他 公的	20～49床	3.2※	—	—	-1.9※
	50～99床	-0.5※	-12.9	1.4※	
	100～199床	1.4	-4.9	3.7※	
	200～299床	3.6	-4.6	—	—
	300～399床	0.0	-5.2※	—	—
	400床～	3.1	1.0※	—	—



図表 II-7 病床規模別比較（人件費比率）

（単位：％）

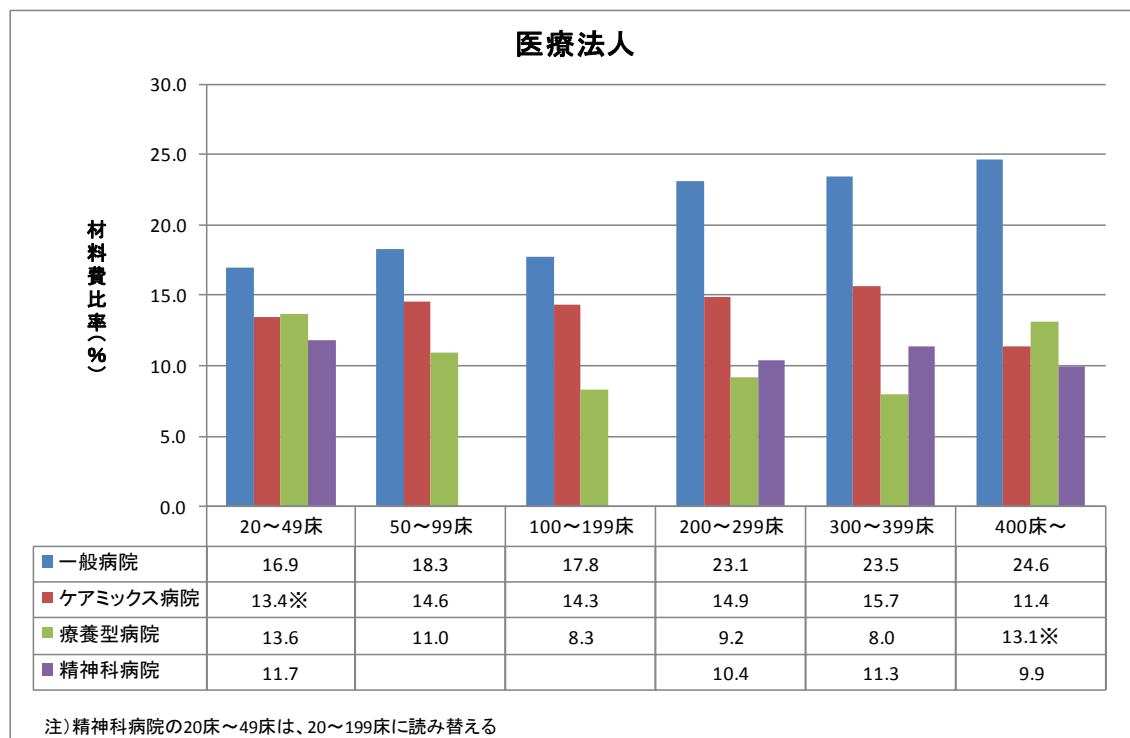
区分		一般病院	ケアミックス病院	療養型病院	精神科病院
医療法人	20～49床	54.5	61.5※	58.8	63.2
	50～99床	55.7	57.7	60.4	
	100～199床	55.3	57.8	60.1	
	200～299床	51.7	57.1	58.4	63.0
	300～399床	51.3	56.9	60.6	65.2
	400床～	48.3	57.1	55.2※	63.3
自治体	20～49床	80.9	84.2※	90.5※	83.1※
	50～99床	74.1	73.6	94.9※	
	100～199床	71.7	67.8	67.2※	
	200～299床	63.0	56.3	84.4※	106.1
	300～399床	57.0	72.2	—	66.2※
	400床～	53.2	62.2	—	—
社会保険 関係	20～49床	—	70.0※	—	
	50～99床	—	—	—	
	100～199床	54.9	64.1※	—	
	200～299床	51.4	48.1※	—	
	300～399床	45.5※	—	—	
	400床～	49.8	—	—	
その他 公的	20～49床	65.2※	—	—	70.4※
	50～99床	58.8※	68.0	65.2※	
	100～199床	54.6	65.3	68.1※	
	200～299床	51.0	56.8	—	—
	300～399床	50.8	52.1※	—	—
	400床～	49.2	54.5※	—	—



図表 II-8 病床規模別比較 (材料費比率)

(単位: %)

区分		一般病院	ケアミックス病院	療養型病院	精神科病院
医療法人	20～49床	16.9	13.4※	13.6	11.7
	50～99床	18.3	14.6	11.0	
	100～199床	17.8	14.3	8.3	
	200～299床	23.1	14.9	9.2	
	300～399床	23.5	15.7	8.0	
	400床～	24.6	11.4	13.1※	
自治体	20～49床	22.3	22.1※	7.5※	16.1※
	50～99床	20.2	19.3	13.3※	
	100～199床	19.2	18.1	15.2※	
	200～299床	23.7	22.3	5.0※	
	300～399床	23.6	22.3	—	
	400床～	26.7	22.9	—	
社会保険 関係	20～49床	—	12.6※	—	—
	50～99床	—	—	—	
	100～199床	24.1	13.7※	—	
	200～299床	22.8	25.0※	—	
	300～399床	26.1※	—	—	
	400床～	27.5	—	—	
その他 公的	20～49床	4.1※	—	—	13.2※
	50～99床	23.6※	21.6	9.0※	
	100～199床	21.5	16.7	9.0※	
	200～299床	23.8	27.1	—	
	300～399床	26.8	31.0※	—	
	400床～	27.9	22.4※	—	

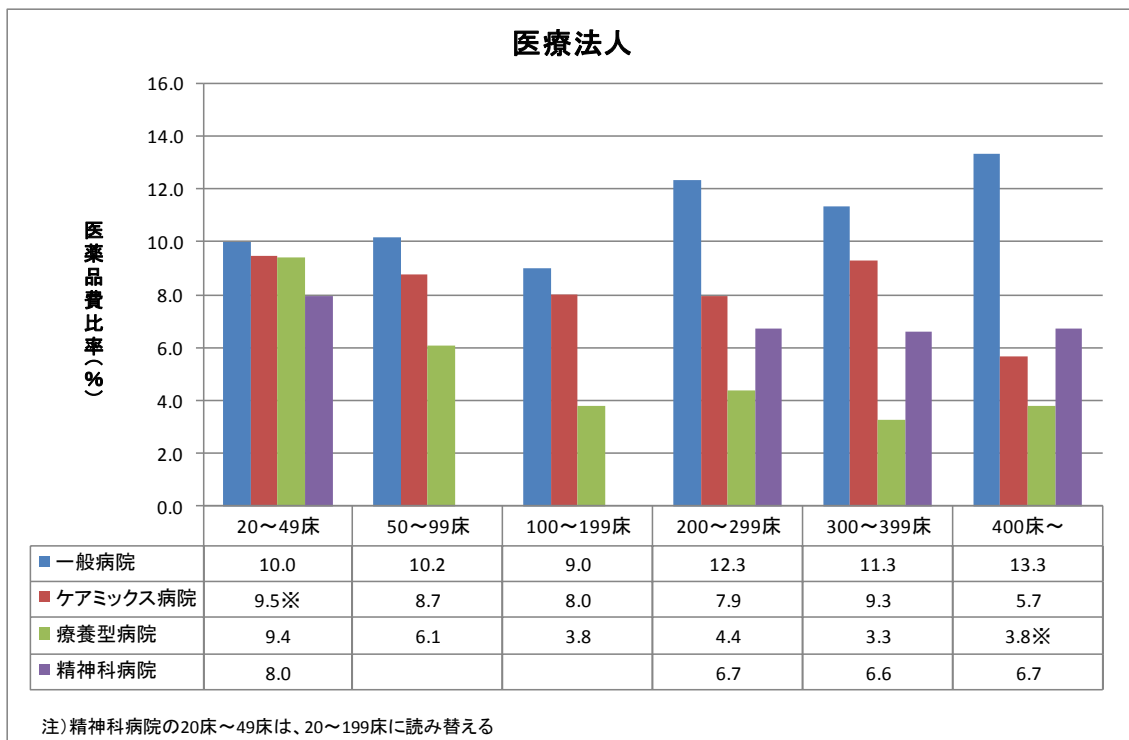




図表 II-9 病床規模別比較（医薬品費比率）

（単位：％）

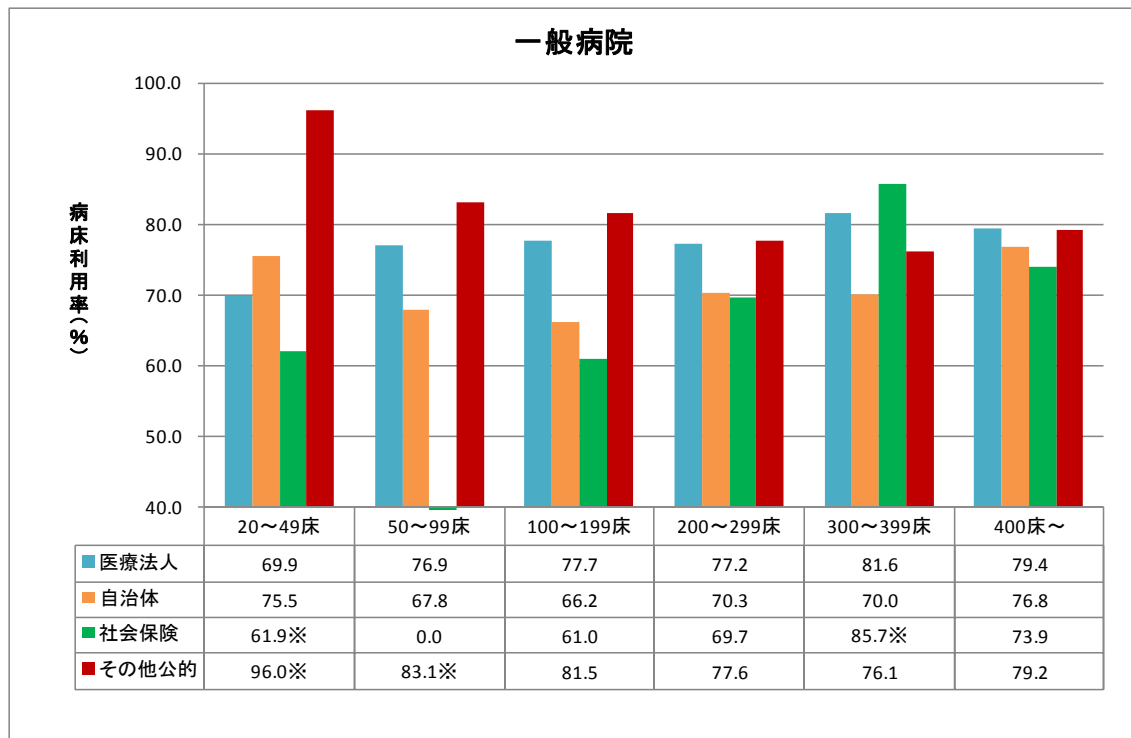
区分		一般病院	ケアミックス病院	療養型病院	精神科病院
医療法人	20～49床	10.0	9.5※	9.4	8.0
	50～99床	10.2	8.7	6.1	
	100～199床	9.0	8.0	3.8	
	200～299床	12.3	7.9	4.4	6.7
	300～399床	11.3	9.3	3.3	6.6
	400床～	13.3	5.7	3.8※	6.7
自治体	20～49床	16.2	17.8※	5.6※	13.1※
	50～99床	14.1	13.4	8.9※	
	100～199床	11.7	11.3	4.8※	
	200～299床	14.6	13.2	1.3※	11.4
	300～399床	13.5	14.3	—	8.9※
	400床～	15.7	13.5	—	—
社会保険 関係	20～49床	—	9.2※	—	
	50～99床	—	—	—	
	100～199床	15.9	8.4※	—	
	200～299床	13.9	17.4※	—	
	300～399床	15.3※	—	—	
	400床～	18.1	—	—	
その他 公的	20～49床	3.0※	—	—	8.3※
	50～99床	18.2※	17.0	3.4※	
	100～199床	15.7	9.9	4.6※	
	200～299床	14.4	21.2	—	—
	300～399床	17.2	25.7※	—	—
	400床～	17.8	15.4※	—	—



図表 II-10 病床規模別比較（病床利用率）

（単位：％）

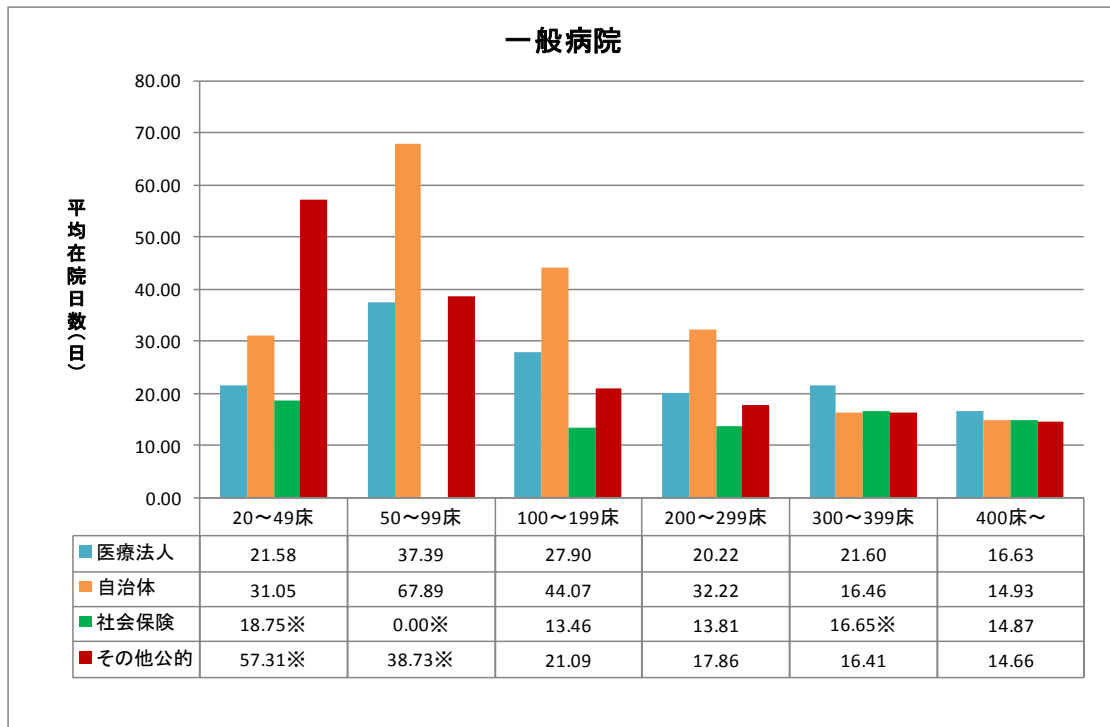
区分		一般病院	ケアミックス病院	療養型病院	精神科病院
医療法人	20～49床	69.9	91.3※	92.2	94.6
	50～99床	76.9	85.3	90.9	
	100～199床	77.7	86.0	92.6	
	200～299床	77.2	88.0	93.5	
	300～399床	81.6	85.5	89.8	
	400床～	79.4	89.0	95.2※	
自治体	20～49床	75.5	79.7※	77.5※	84.7※
	50～99床	67.8	68.3	82.1※	
	100～199床	66.2	76.9	97.6※	
	200～299床	70.3	72.9	78.0※	
	300～399床	70.0	61.4	—	
	400床～	76.8	75.0	—	
社会保険 関係	20～49床	61.9※	78.9※	—	
	50～99床	—	75.8※	—	
	100～199床	61.0	75.5※	—	
	200～299床	69.7	73.9※	—	
	300～399床	85.7※	—	—	
	400床～	73.9	—	—	
その他 公的	20～49床	96.0※	—	—	97.4※
	50～99床	83.1※	80.7	97.5※	
	100～199床	81.5	71.1	97.6※	
	200～299床	77.6	77.7	—	
	300～399床	76.1	78.1※	—	
	400床～	79.2	89.0※	—	



図表 II-11 病床規模別比較（平均在院日数）

（単位：日）

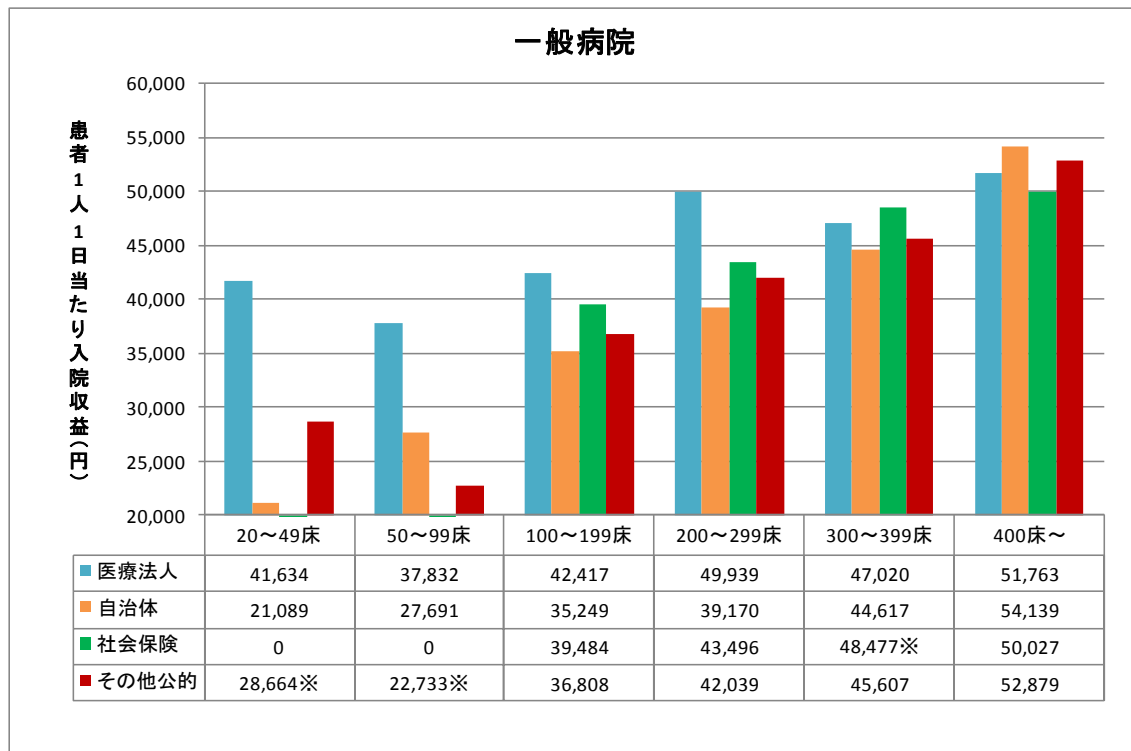
区分		一般病院	ケアミックス病院	療養型病院	精神科病院
医療法人	20～49床	21.58	94.36※	319.24	647.41
	50～99床	37.39	95.74	275.43	
	100～199床	27.90	90.08	391.90	
	200～299床	20.22	136.19	370.62	
	300～399床	21.60	122.93	609.27	
	400床～	16.63	343.97	240.42※	
自治体	20～49床	31.05	57.17※	304.49※	271.10※
	50～99床	67.89	43.02	89.24※	
	100～199床	44.07	37.56	479.49※	
	200～299床	32.22	26.64	75.51※	
	300～399床	16.46	32.35	—	
	400床～	14.93	20.50	—	
社会保険 関係	20～49床	18.75※	34.10※	—	
	50～99床	—	27.69※	—	
	100～199床	13.46	45.31※	—	
	200～299床	13.81	24.78※	—	
	300～399床	16.65※	—	—	
	400床～	14.87	—	—	
その他 公的	20～49床	57.31※	—	—	301.02※
	50～99床	38.73※	57.63	135.13※	
	100～199床	21.09	34.32	434.48※	
	200～299床	17.86	38.07	—	
	300～399床	16.41	28.00※	—	
	400床～	14.66	51.10※	—	



図表 II-12 患者 1 人 1 日当たり入院収益

(単位:円)

区分		一般病院	ケアミックス病院	療養型病院	精神科病院
医療法人	20～49床	41,634	18,266※	16,835	13,828
	50～99床	37,832	28,513	24,913	
	100～199床	42,417	27,628	20,279	
	200～299床	49,939	26,338	18,387	
	300～399床	47,020	24,920	20,085	
	400床～	51,763	22,806	18,231※	
自治体	20～49床	21,089	16,225※	15,154※	20,377※
	50～99床	27,691	24,418	19,534※	
	100～199床	35,249	25,613	15,706※	
	200～299床	39,170	34,691	42,105※	
	300～399床	44,617	28,980	—	
	400床～	54,139	39,525	—	
社会保険 関係	20～49床	—	24,678※	—	
	50～99床	—	—	—	
	100～199床	39,484	20,766※	—	
	200～299床	43,496	42,162※	—	
	300～399床	48,477※	—	—	
	400床～	50,027	—	—	
その他 公的	20～49床	28,664※	—	—	13,888※
	50～99床	22,733※	20,043	21,528※	
	100～199床	36,808	28,387	17,751※	
	200～299床	42,039	26,688	—	
	300～399床	45,607	28,309※	—	
	400床～	52,879	33,490※	—	



## 2. 平成 16 年度から平成 22 年度（7 年間）の推移分析

本項目では、平成 16 年～平成 22 年度までの 7 年間の各指標を開設主体別に折れ線グラフ化し、病院種別による比較及び経年の変化を分析する。本項目で分析した指標は以下の通り。

- (1) 黒字病院比率
- (2) 医業利益率
- (3) 経費関係指標（材料費比率・医薬品比率・人件費比率・職員 1 人当たり人件費）

尚、「社会保険関係団体」及び「その他公的」の「療養型病院」「精神科病院」については、本年度（平成 22 年度）の集計件数が 5 件以下で集計件数が少ないため、本項目の分析対象外とした。本年度の各分類の集計対象件数は「図表 II-1 病院種別・開設者別施設数」を参照されたい。

また、本項目の分析については、下記の点に注意されたい。

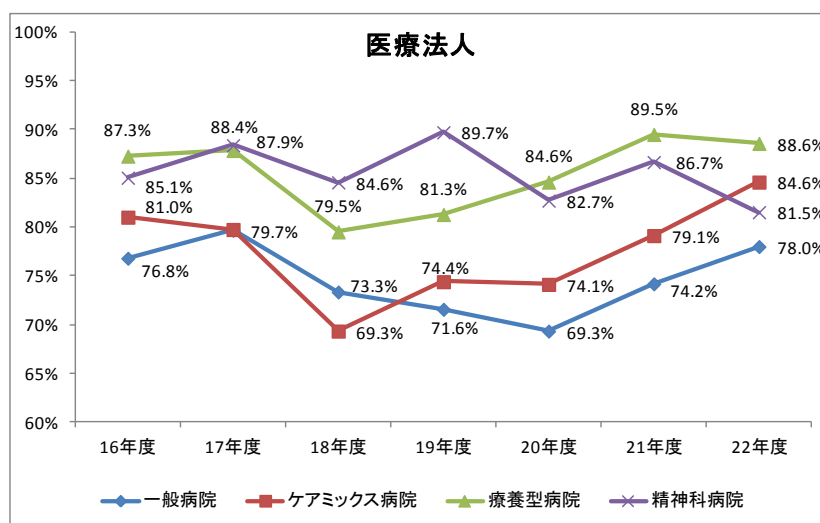
- 各年度によって、調査票の回答病院が異なる為、集計対象件数が相違すること
- 集計対象件数が少ない年度や指標は、各年度の結果が大きく変動すること

※本項目の過去データは厚生労働省HP「病院経営管理指標」の各年度の調査結果から取得した。詳細な過去データについては、各年度の調査結果を参照されたい。

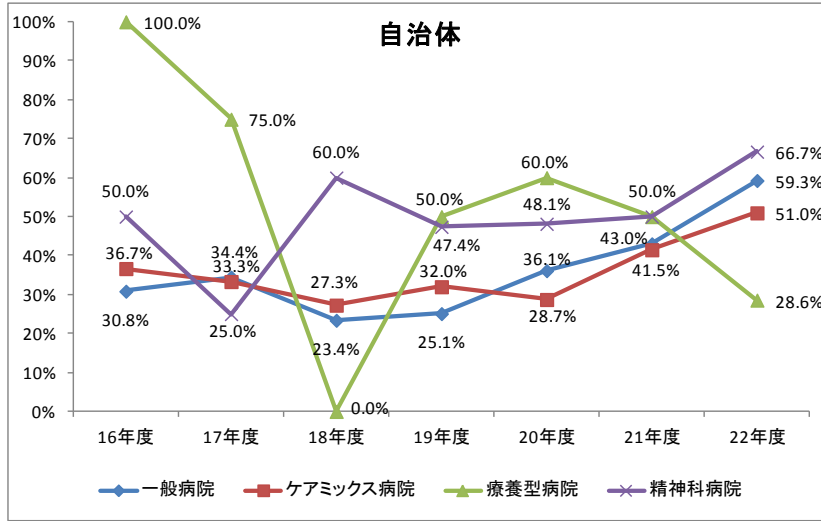
### (1) 黒字病院比率

黒字病院比率の本年度（平成 22 年度）の結果として、一般病院及びケアミックス病院は全ての開設主体で、黒字病院の比率が増加した。この傾向は、平成 21 年度から概ね 2 年連続で見られる。黒字病院が増加していることから、各病院で経営改善が図られているものと推測される。公的病院の黒字病院が増加傾向で推移している事は、公立病院改革の成果が表れてきていると思われる。

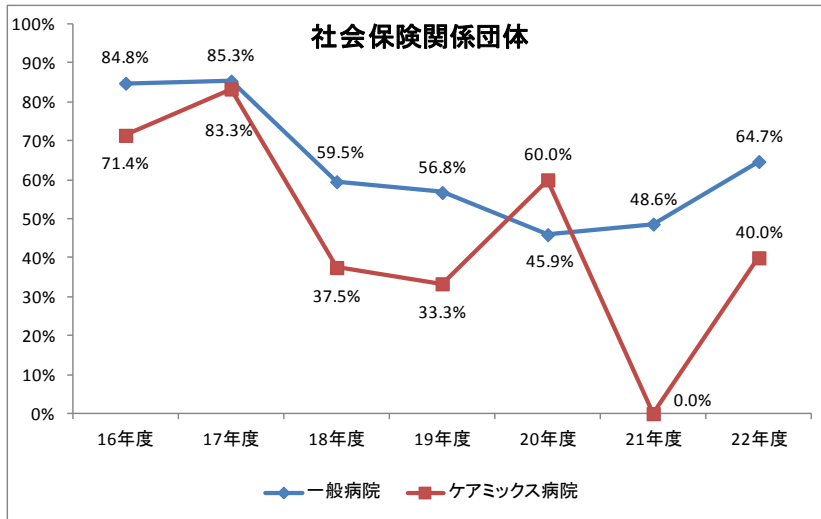
図表 II-13 黒字病院比率の推移



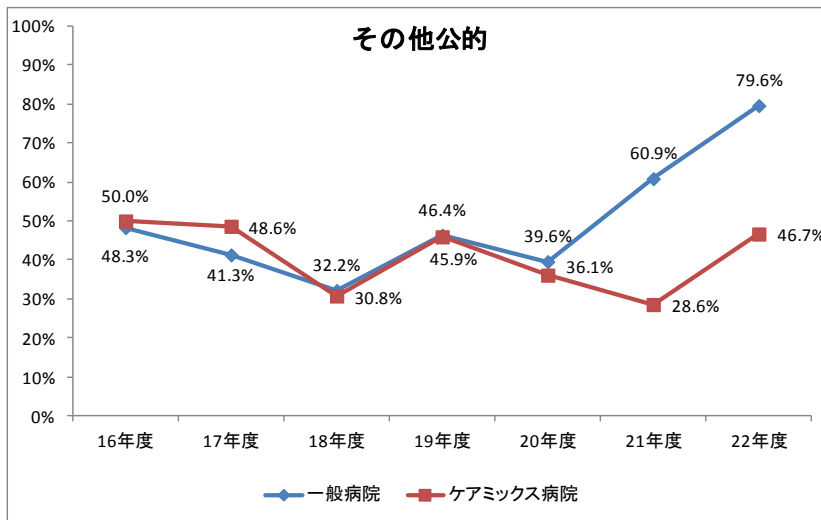
図表 II-14 黒字病院比率の推移



図表 II-15 黒字病院比率の推移



図表 II-16 黒字病院比率の推移



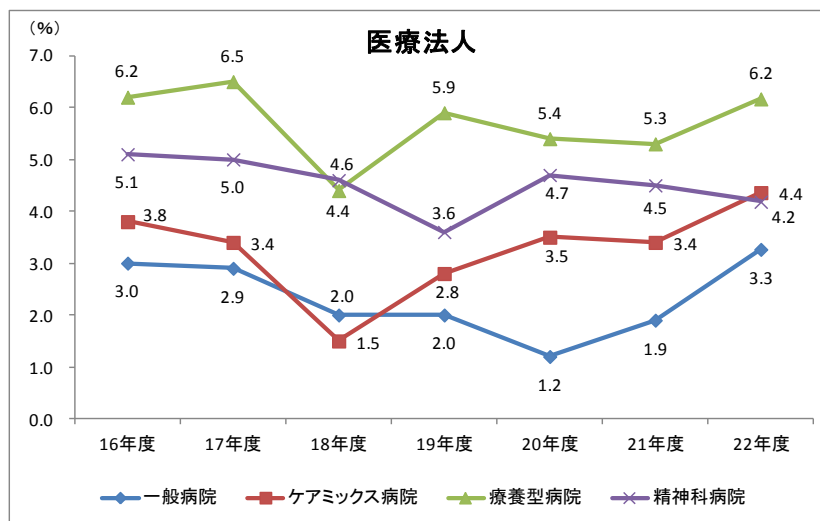
## (2) 医業利益率

今年度（平成 22 年度）の医業利益率は、医療法人の精神科病院を除いて全て上昇している。医業利益率の上昇の要因としては、平成 22 年 4 月の診療報酬改定による医業収益の増収効果であると推測される。また、後述する（3）経費関係指標が示すように、医薬品費を始めとする材料費等のコスト削減等、病院の経営改善努力があるものと推測される。

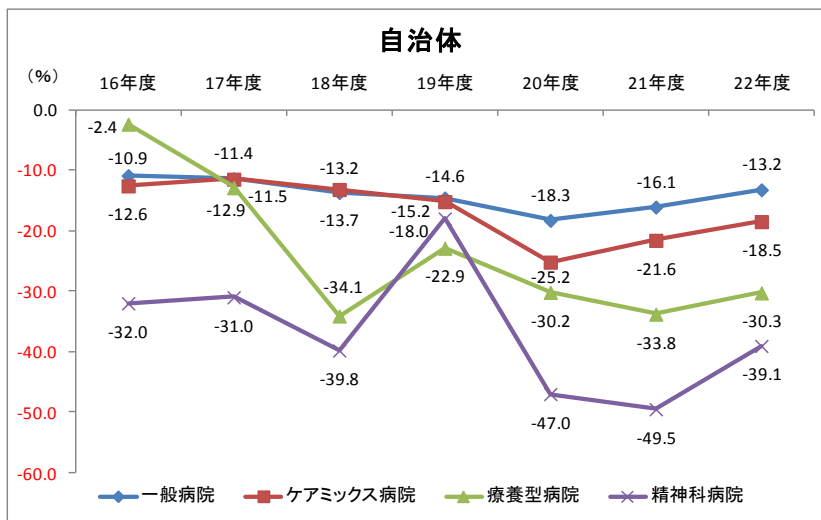
医療法人の一般病院は、2 年連続で医業利益率が上昇していることに加え、医業利益率の上昇幅がその他の病院種別に比べ大きくなっており、平成 22 年度の診療報酬改定において急性期入院医療に 4,000 億円配分された効果が医業利益率向上に寄与したもの見られる。しかし、医療法人の一般病院の医業利益率は改善が進んでいるものの、直近 4 年間は医療法人の病院種別の比較では最も低くなっている。

自治体病院では、全ての病院種別で医業利益率はマイナスとなっているものの医業利益率は改善が見られる。社会保険関係団体及びその他公的の一般病院では、従来マイナス計上だった医業利益率が今年度はプラスに転じており、大きく改善が図られたことが見て取れる。自治体・社会保険関係団体・その他公的病院では、医療法人とは違い一般病院の医療利益率は最も高くなっており、病院種別による医業利益率の比較では医療法人とその他の開設主体では異なる結果となっている。

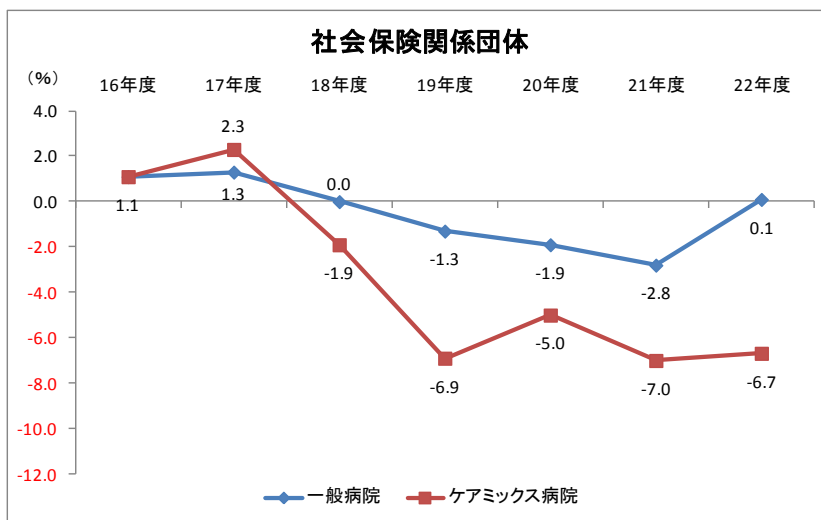
図表 II-17 医業利益率の推移



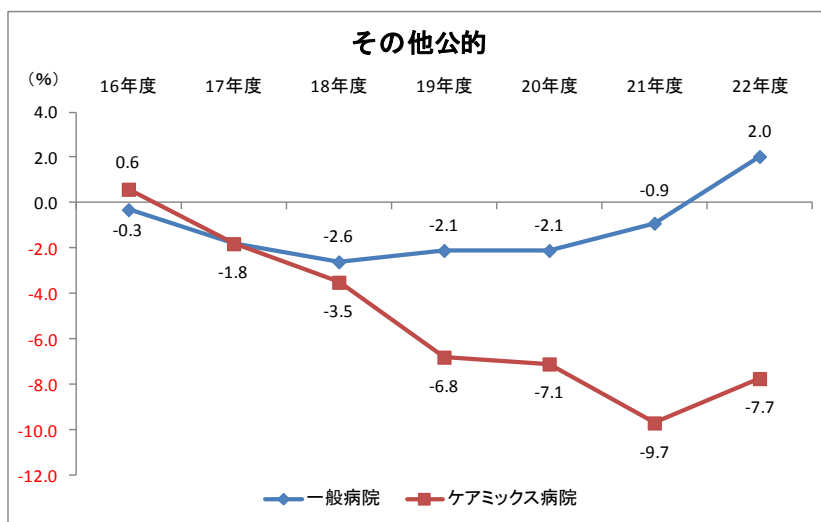
図表 II-18 医業利益率の推移



図表 II-19 医業利益率の推移



図表 II-20 医業利益率の推移





### (3) 経費関係指標

材料費比率を過去からの推移で見ると、全ての開設主体・病院種別において低下傾向であり、各病院において、コスト削減に注力している結果であると推測される。医薬品費比率でも同様の傾向である。

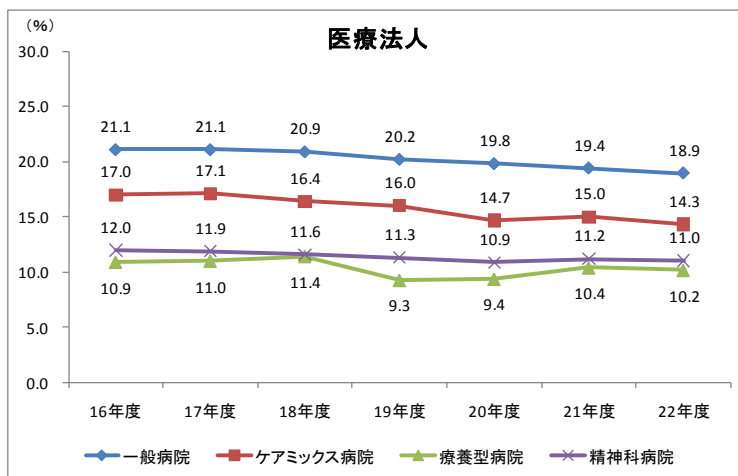
材料費比率を病院種別で比較すると、急性期医療を実施する一般病院が全ての開設主体で高くなっている。医薬品費比率では、その他公的を除いては、同様の結果となった。医薬品費については、薬価のマイナス改定によって下落が続いていることの影響に加え、後発医薬品が処方せん様式の変更、保険薬局及び保険薬剤師療養担当規則等の改正、薬局の調剤基本料における後発医薬品調剤体制加算の新設等の取組によって普及率が高まっていることも要因として考えられる。

人件費比率を見ると、医療法人では年々上昇傾向にある。また、職員1人当たり人件費も増加傾向にあり、職員確保のための賃金引き上げが実施されているものと推測される。開設主体での比較では、自治体病院がその他の開設主体に比べ人件費比率及び職員1人当たり人件費が相対的に高い。自治体病院の医業利益率がマイナス計上の要因は高い人件費比率にあるものと考えられる。

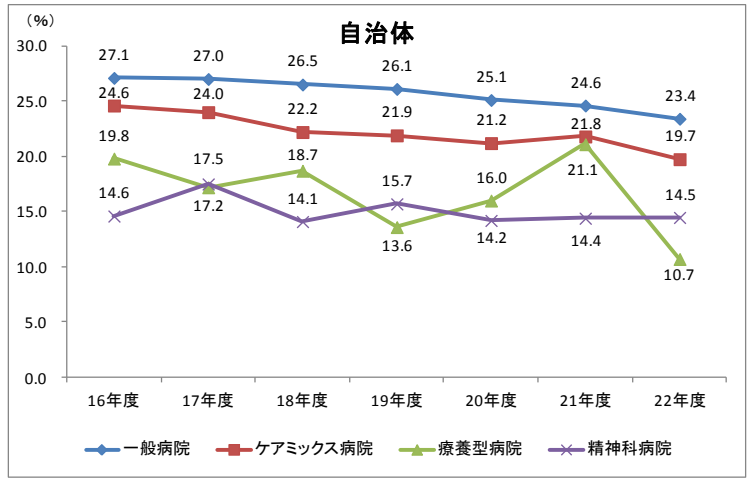
材料費や医薬品費等の変動費については削減が進んでいるが、医業収益の5割を超える人件費の上昇については、病院経営に大きな影響を及ぼすことが予想される。また、医業収益によって変動しない固定費である人件費の上昇は損益分岐点売上高の上昇につながり、医業収益の減少が医業利益率の低下に直結する可能性もあることから、人件費の上昇については注意が必要である。今後、上昇が予想される人件費に対応するために、正社員の雇用を減らしパートタイム労働者や派遣スタッフでの代替や、外部労働力としてアウトソーシングの活用を積極的に進めていくことで、人件費全体をできるだけ変動費化していく検討が必要と考えられる。

#### ① 材料費比率

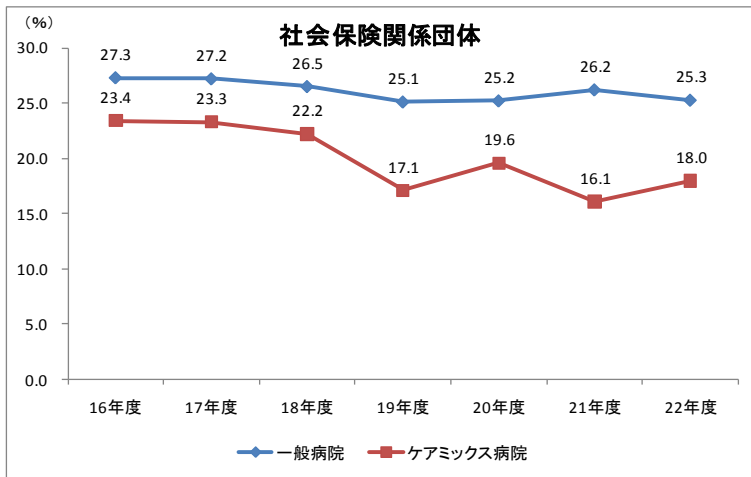
図表 II-21 材料費比率の推移



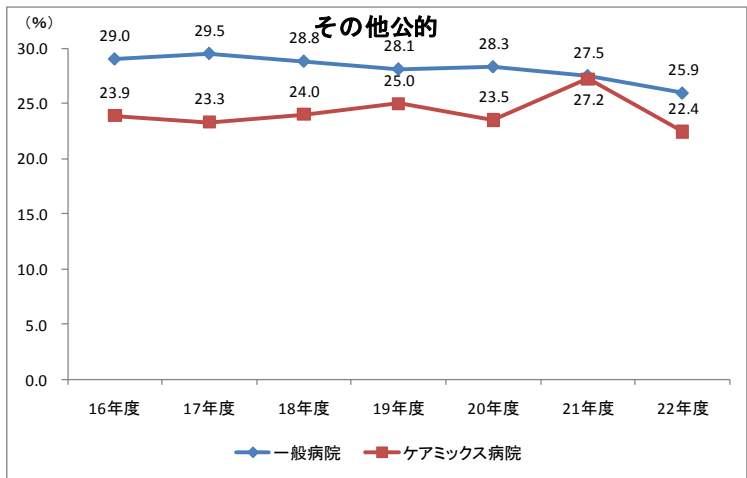
図表 II-22 材料費比率の推移



図表 II-23 材料費比率の推移

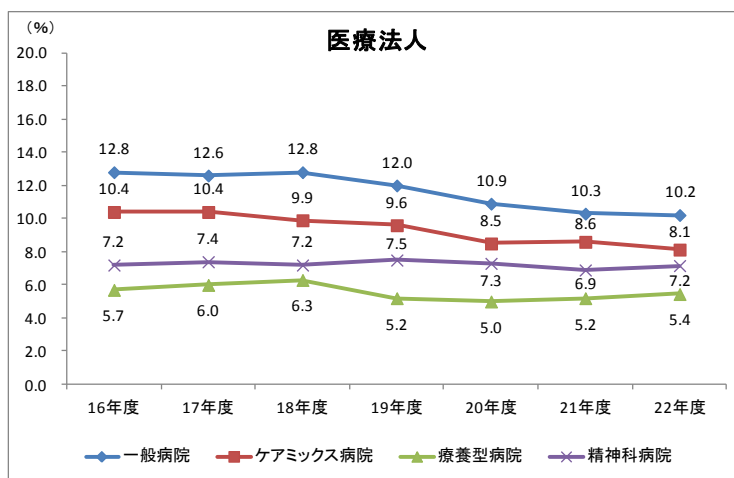


図表 II-24 材料費比率の推移

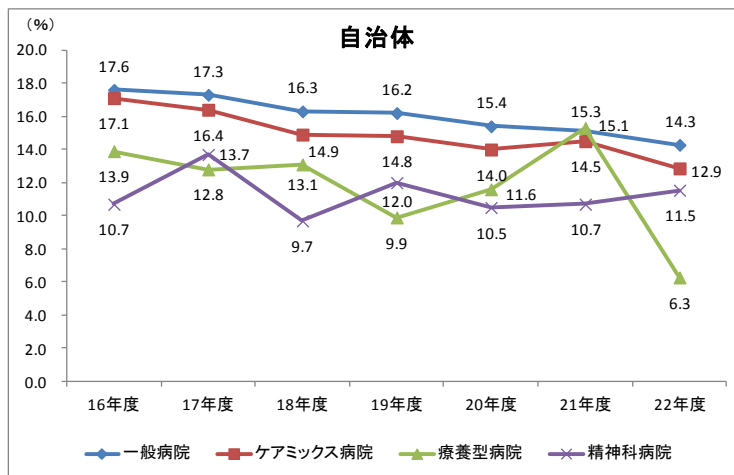


② 医薬品費比率

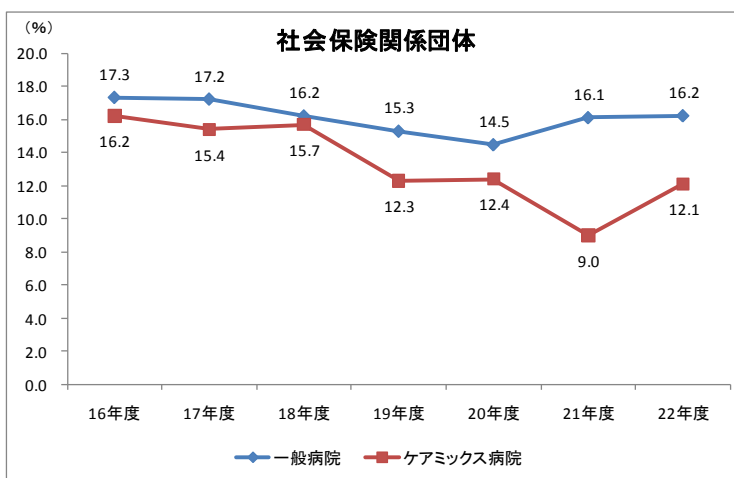
図表 II-25 医薬品費比率の推移



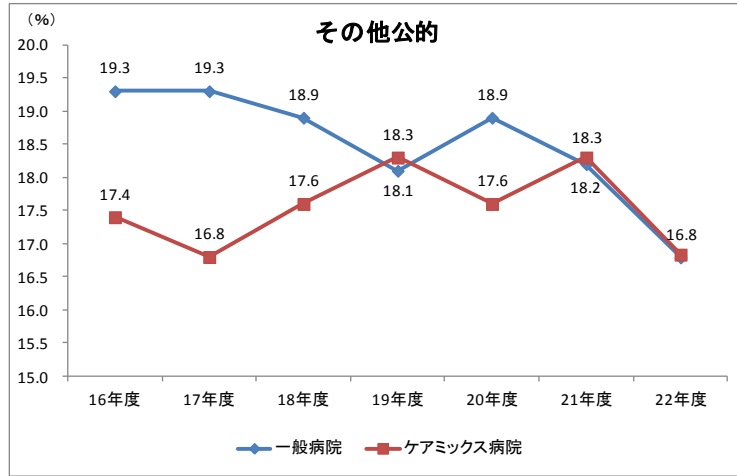
図表 II-26 医薬品費比率の推移



図表 II-27 医薬品費比率の推移

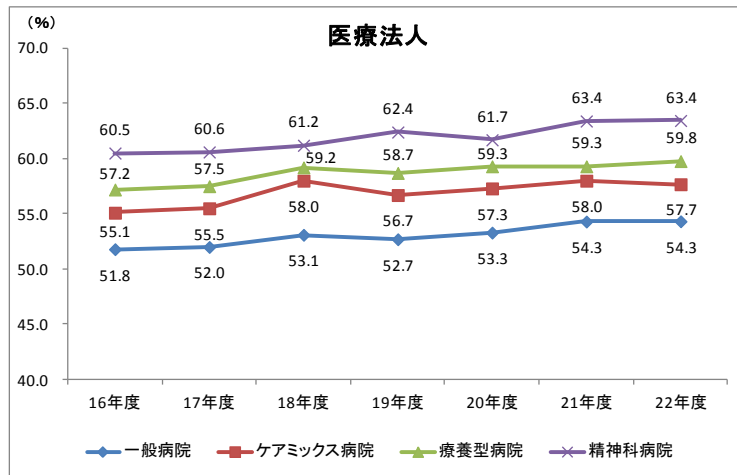


図表 II-28 医薬品費比率の推移

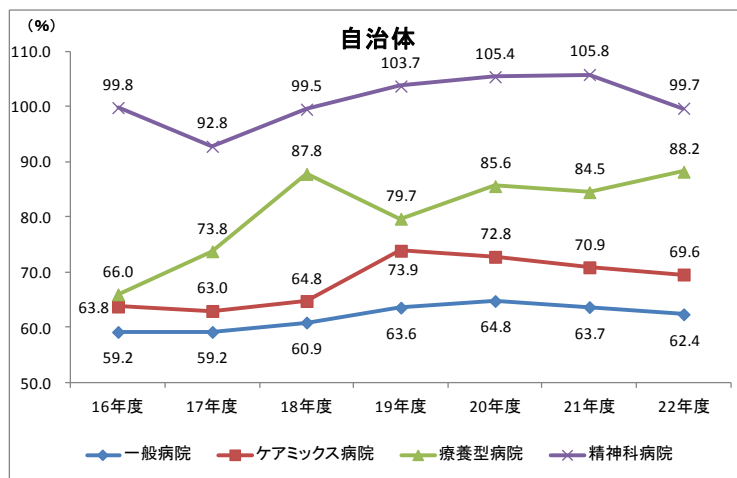


③ 人件費比率

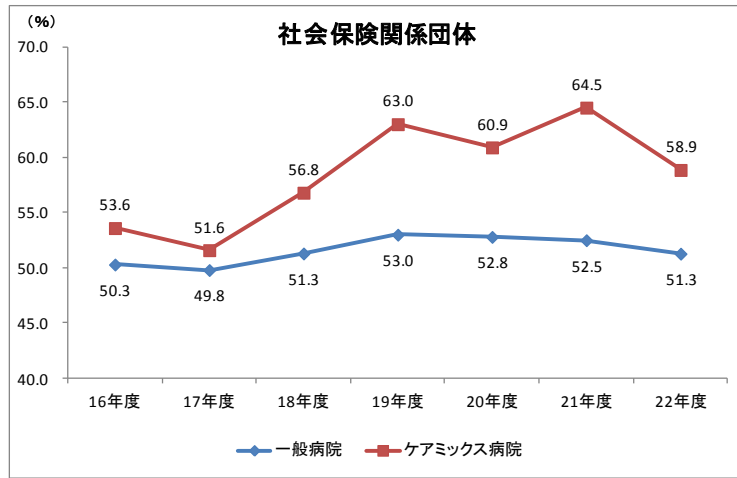
図表 II-29 人件費比率の推移



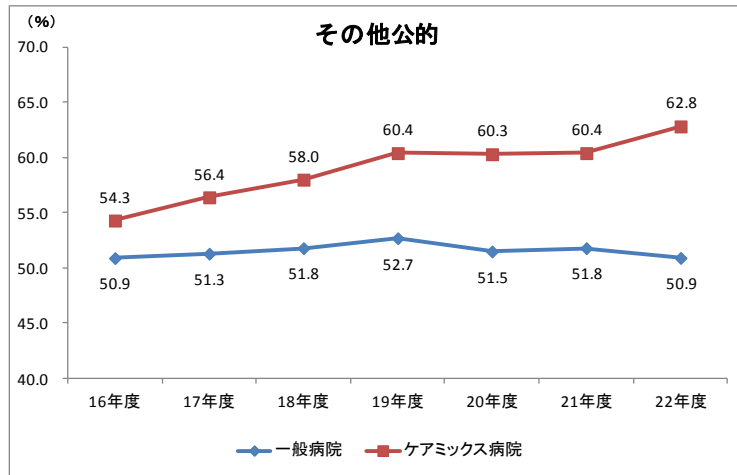
図表 II-30 人件費比率の推移



図表 II-31 人件費比率の推移

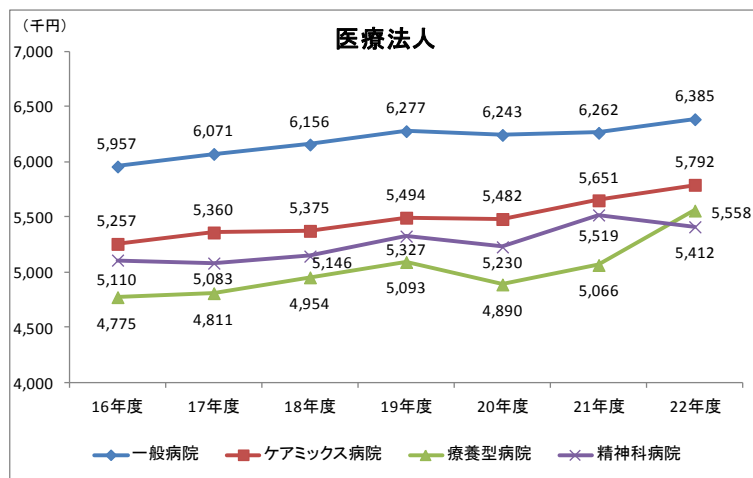


図表 II-32 人件費比率の推移

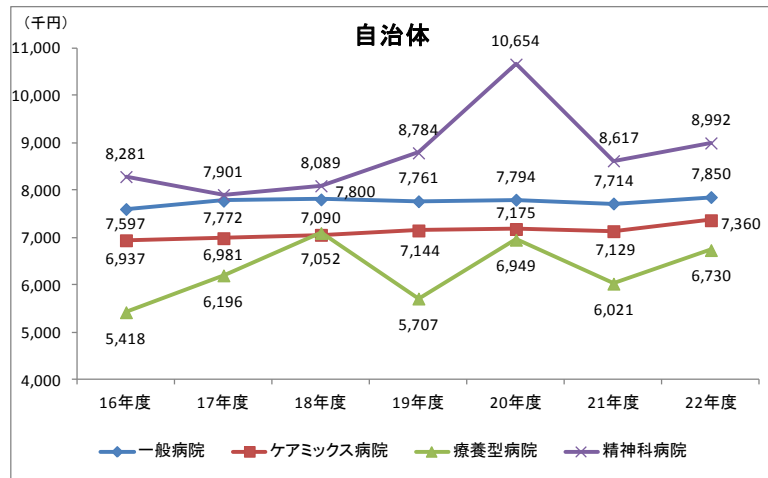


④ 職員 1 人当たり人件費

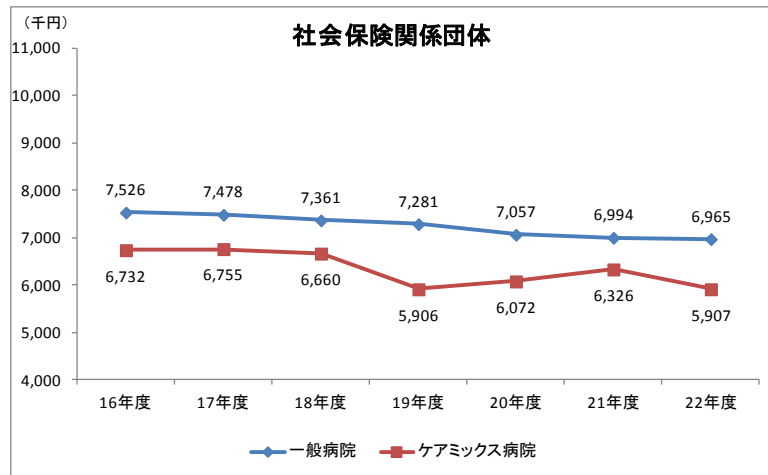
図表 II-33 職員 1 人当たり人件費



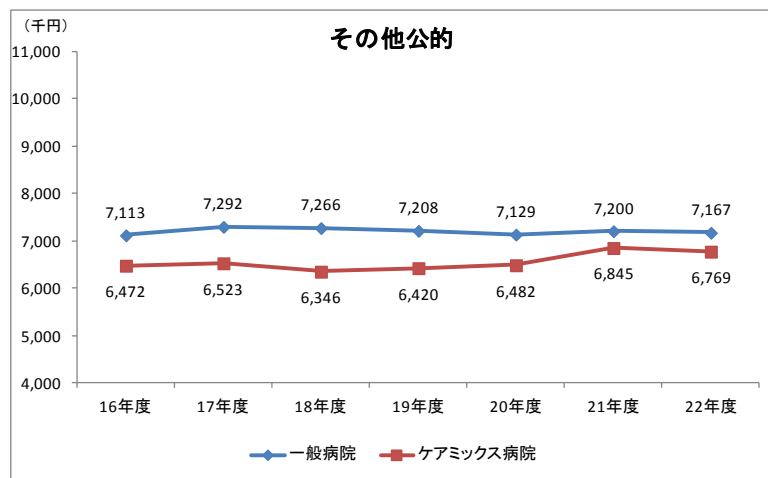
図表 II-34 職員 1 人当たり人件費



図表 II-35 職員 1 人当たり人件費



図表 II-36 職員 1 人当たり人件費



### 3. 医療機能別分析

#### (1) 平均在院日数別

医療法人の一般病院では、平均在院日数が61～120日の区分の医業利益率が最も高く、平均在院日数が短くなるほど医業利益率が比例して高くなる傾向は見られなかった。平均在院日数が短くなるにつれて病床利用率が低下しており、在院日数の短縮を実践しながらの病床の稼働率の上昇は難しいものと思われる。一方で、医療法人のケアミックス病院・療養型病院・精神科病院では、集計件数の少ないものを除いて平均在院日数が長いほど医業利益率の上昇が見られる。

図表 II-37 平均在院日数別比較（施設数）

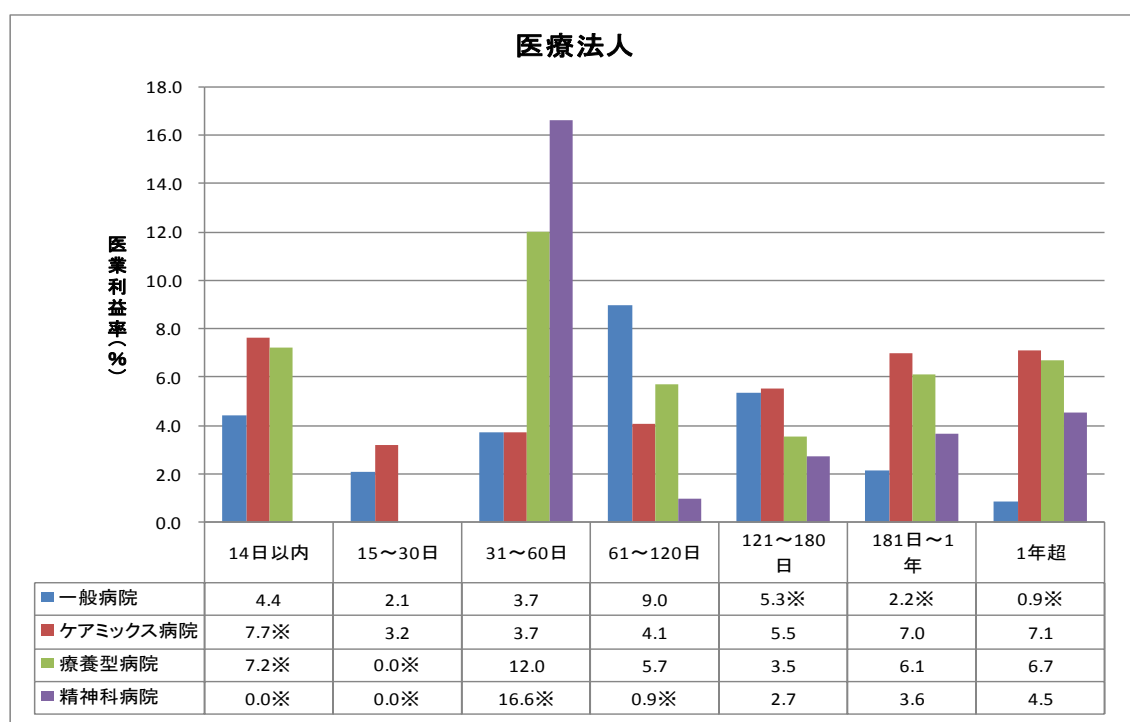
（単位：施設）

区分		一般病院	ケアミックス病院	療養型病院	精神科病院
医療法人	14日以内	84	4※	2※	0※
	15～30日	164	36	0※	0※
	31～60日	55	114	6	2※
	61～120日	16	85	39	5※
	121～180日	3※	28	34	6
	181日～1年	2※	28	66	48
	1年超	1※	12	82	103
自治体	14日以内	79	3※	0※	0※
	15～30日	198	45	0※	0※
	31～60日	15	43	0※	1※
	61～120日	12	13	5※	5※
	121～180日	6	0※	0※	5※
	181日～1年	1※	0※	0※	7
	1年超	4※	0※	2※	2※
社会保険 関係	14日以内	15	0※	0※	
	15～30日	20	3※	0※	
	31～60日	0※	3※	0※	
	61～120日	0※	0※	0※	
	121～180日	0※	0※	0※	
	181日～1年	0※	0※	0※	
	1年超	0※	0※	0※	
その他 公的	14日以内	35	0※	0※	0※
	15～30日	64	12	0※	0※
	31～60日	7	12	0※	0※
	61～120日	0※	7	0※	0※
	121～180日	0※	0※	1※	1※
	181日～1年	0※	0※	0※	1※
	1年超	0※	0※	0※	1※

図表 II-38 平均在院日数別比較（医業利益率）

（単位：％）

区分		一般病院	ケアミックス病院	療養型病院	精神科病院
医療法人	14日以内	4.4	7.7※	7.2※	-
	15～30日	2.1	3.2	-	-
	31～60日	3.7	3.7	12.0	16.6※
	61～120日	9.0	4.1	5.7	0.9※
	121～180日	5.3※	5.5	3.5	2.7
	181日～1年	2.2※	7.0	6.1	3.6
	1年超	0.9※	7.1	6.7	4.5
自治体	14日以内	-7.5	-14.2※	-	-
	15～30日	-13.3	-13.5	-	-
	31～60日	-27.1	-19.6	-	-23.0※
	61～120日	-23.6	-31.2	-37.6※	-32.8※
	121～180日	-19.0	-	-	-50.5※
	181日～1年	-	-	-	-33.9
	1年超	-84.2※	-	-11.9※	-76.7※
社会保険 関係	14日以内	2.4	-	-	-
	15～30日	-1.7	0.5※	-	-
	31～60日	-	-11.5※	-	-
	61～120日	-	-	-	-
	121～180日	-	-	-	-
	181日～1年	-	-	-	-
	1年超	-	-	-	-
その他 公的	14日以内	3.6	-	-	-
	15～30日	1.2	-5.7	-	-
	31～60日	0.5	-10.2	-	-
	61～120日	-	-6.7	-	-
	121～180日	-	-	1.4※	-2.7※
	181日～1年	-	-	-	-5.7※
	1年超	-	-	-	2.8※

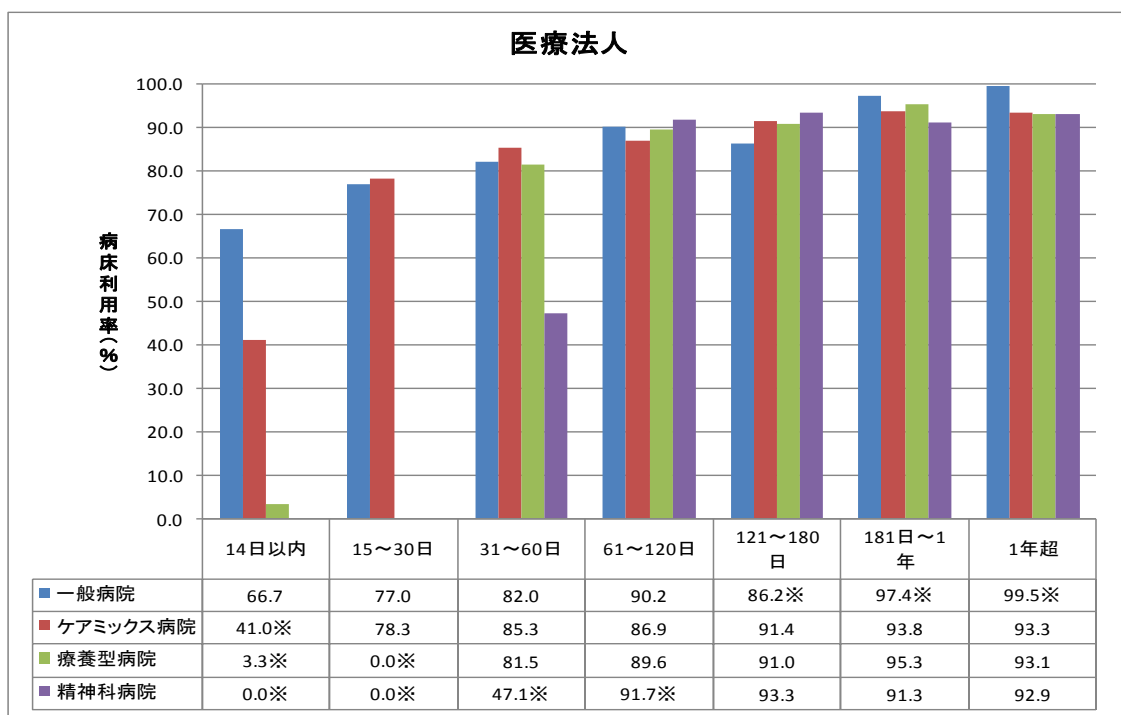




図表 II-39 平均在院日数別比較 (病床利用率)

(単位: %)

区分		一般病院	ケアミックス病院	療養型病院	精神科病院
医療法人	14日以内	66.7	41.0※	3.3※	-
	15～30日	77.0	78.3	-	-
	31～60日	82.0	85.3	81.5	47.1※
	61～120日	90.2	86.9	89.6	91.7※
	121～180日	86.2※	91.4	91.0	93.3
	181日～1年	97.4※	93.8	95.3	91.3
	1年超	99.5※	93.3	93.1	92.9
自治体	14日以内	72.4	67.5※	-	-
	15～30日	70.8	70.0	-	-
	31～60日	78.8	74.6	-	95.8※
	61～120日	83.3	73.8	76.1※	74.4※
	121～180日	63.2	-	-	65.9※
	181日～1年	76.2※	-	-	75.1
	1年超	59.9※	-	98.3※	79.1※
社会保険 関係	14日以内	70.5	-	-	-
	15～30日	69.5	74.5※	-	-
	31～60日	-	76.7※	-	-
	61～120日	-	-	-	-
	121～180日	-	-	-	-
	181日～1年	-	-	-	-
	1年超	-	-	-	-
その他 公的	14日以内	79.2	-	-	-
	15～30日	77.9	73.3	-	-
	31～60日	83.6	77.6	-	-
	61～120日	-	90.4	-	-
	121～180日	-	-	97.5※	96.7※
	181日～1年	-	-	-	98.0※
	1年超	-	-	-	97.5※



## (2) D P C適用区分別比較

一般病院のD P C対象・準備病院とD P C適用無の病院を比較すると医業利益率は、全ての開設主体でD P C対象・準備病院が高い結果となった。要因として、医薬品費を含め材料費比率がD P C対象・準備病院が高いものの（社会保険関係団体を除く）、患者1人1日当たり入院収益及び外来患者1人1日当たり外来収益等の単価が、D P C対象・準備病院が高いこと、平均在院日数が短いこと、病床利用率が高く稼働状況も良好なこと（その他公的を除く）が考えられる。

図表 II-40 D P C適用の有無別比較

	(病院数)	一般病院									
		全病院		医療法人		自治体		社会保険関係団体		その他公的	
		DPC対象・ 準備病院 (421)	DPC 適用無 (377)	DPC対象・ 準備病院 (128)	DPC 適用無 (209)	DPC対象・ 準備病院 (176)	DPC 適用無 (142)	DPC対象・ 準備病院 (31)	DPC 適用無 (4)	DPC対象・ 準備病院 (86)	DPC 適用無 (22)
(平均病床数)	(372.3)	(117.7)	(222.1)	(85.5)	(453.9)	(149.5)	(356.5)	(143.5)	(434.5)	(213.9)	
<b>収益性</b>											
医業利益率	(%)	-0.6	-7.1	3.5	3.1	-5.3	-23.8	0.8	-7.7	2.1	1.8
総資本医業利益率	(%)	0.2	-6.0	4.0	4.5	-3.4	-22.8	0.3	-1.2	2.4	2.1
経常利益率	(%)	2.4	0.5	3.4	4.0	1.6	-4.9	1.5	-7.5	2.9	3.0
病床利用率	(%)	76.9	71.4	79.7	73.7	75.4	66.9	71.2	60.0	78.1	81.1
固定費比率	(%)	63.2	71.6	61.7	64.2	66.5	83.9	61.0	66.6	59.4	62.9
材料費比率	(%)	24.3	19.2	21.3	17.4	25.2	21.0	25.1	27.1	26.7	23.1
医薬品費比率	(%)	14.1	11.8	10.7	9.9	14.8	13.7	15.9	19.1	16.9	16.4
人件費比率	(%)	52.5	62.2	51.8	56.0	54.6	72.7	50.7	57.6	50.0	54.5
委託費比率	(%)	6.8	7.4	5.3	5.4	8.4	10.5	6.5	6.3	6.0	5.9
設備関係費比率	(%)	9.3	8.1	9.0	7.5	9.7	9.2	9.9	9.0	8.8	7.7
経費比率	(%)	6.3	9.2	7.7	9.9	5.8	8.9	5.9	7.4	5.2	5.7
総資本回転率	(%)	92.0	108.5	120.8	119.9	71.3	94.0	108.2	119.0	88.0	96.4
医師人件費比率計	(%)	13.2	13.7	13.3	12.2	13.6	16.0	12.6	13.1	12.6	12.1
看護師人件費比率計	(%)	19.1	20.7	17.0	18.0	21.0	24.8	18.4	19.3	18.9	19.2
その他職員人件費比率計	(%)	11.8	16.8	14.0	16.2	10.6	18.1	12.1	13.7	10.9	14.2
常勤医師1人当たり人件費	(千円)	16,518	18,508	19,556	18,237	15,636	19,051	13,808	15,774	14,952	17,602
常勤看護師1人当たり人件費	(千円)	4,980	4,936	4,667	4,723	5,254	5,218	4,842	5,414	4,965	4,955
職員1人当たり人件費	(千円)	7,204	6,993	6,389	6,383	7,842	7,859	6,925	7,383	7,206	7,017
職員1人当たり医業収益	(千円)	13,922	11,685	12,530	11,661	14,580	11,452	13,839	12,790	14,627	13,075
<b>機能性</b>											
平均在院日数	(日)	16.17	38.90	18.72	33.31	15.13	49.61	14.03	18.05	15.30	25.64
外来/入院比	(倍)	1.93	2.55	2.16	2.94	1.83	2.07	1.96	3.93	1.80	1.82
1床当たり1日平均入院患者数	(人)	0.77	0.71	0.80	0.74	0.75	0.67	0.71	0.60	0.78	0.81
1床当たり1日平均外来患者数	(人)	1.42	1.65	1.59	1.89	1.32	1.31	1.37	2.45	1.41	1.47
患者1人1日当たり入院収益	(円)	49,910	34,643	50,847	36,512	50,113	32,153	45,974	37,803	49,633	33,919
外来患者1人1日当たり外来収益	(円)	12,849	9,948	13,250	9,023	12,247	10,863	13,158	9,885	13,346	11,951
医師1人当たり入院患者数	(人)	4.71	6.61	5.44	6.35	4.32	6.90	4.20	4.31	4.65	7.47
医師1人当たり外来患者数	(人)	8.35	13.12	9.50	13.34	7.57	12.73	8.07	15.98	8.36	13.03
看護師1人当たり入院患者数	(人)	0.97	1.21	1.06	1.27	0.93	1.12	0.92	0.96	0.92	1.28
看護師1人当たり外来患者数	(人)	1.76	2.61	2.00	2.94	1.63	2.16	1.79	3.60	1.67	2.22
職員1人当たり入院患者数	(人)	0.51	0.55	0.48	0.54	0.53	0.57	0.48	0.45	0.51	0.62
職員1人当たり外来患者数	(人)	0.91	1.19	0.87	1.24	0.93	1.12	0.93	1.70	0.91	1.09

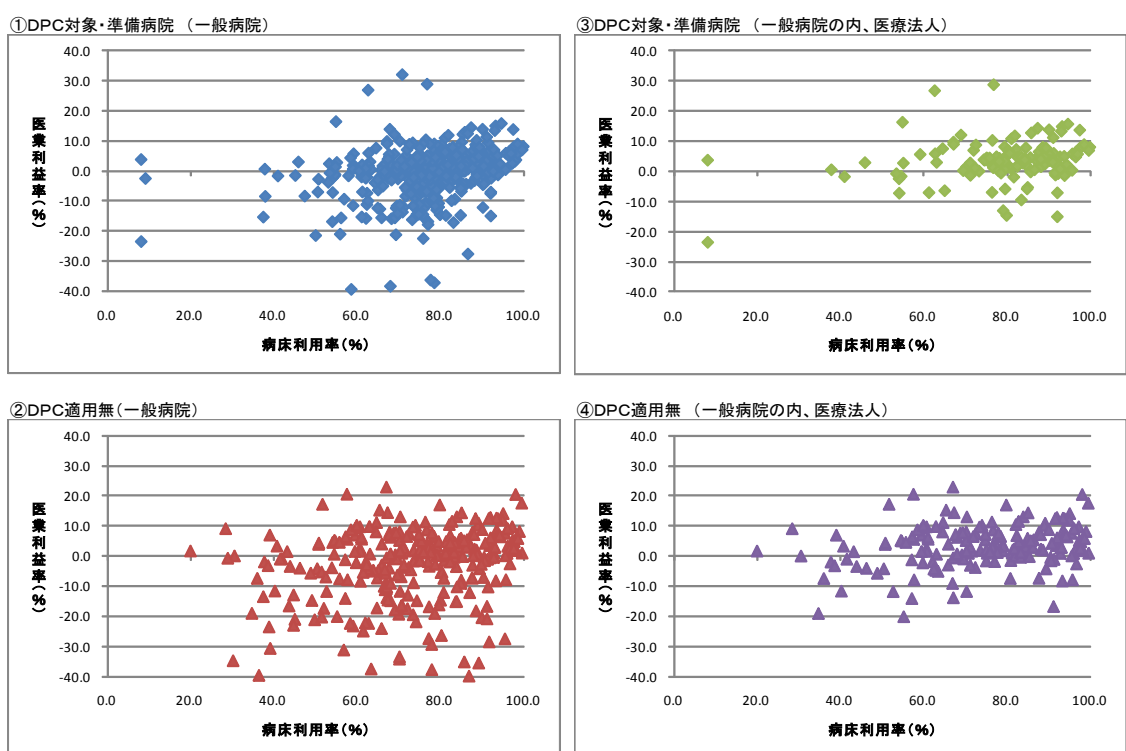
D P C対象・準備病院とD P C適用無に分類し、医業利益率を縦軸に病床利用率・材料費比率・平均在院日数・患者1人1日当たり入院収益をそれぞれ横軸に散布図を作成した。また、一般病院の医療法人に限って同じ形式で散布図を作成した。

- ①D P C対象・準備病院（一般病院）      ③D P C対象・準備病院（一般病院の内、医療法人）
- ②D P C適用無（一般病院）              ④D P C適用無（一般病院の内、医療法人）

全体的な特徴として、D P C対象・準備病院は、分布が集中していることがあげられる。これには、背景としてD P Cデータが公表されており、D P C対象・準備病院が経営データや診療の質に関するデータについて自院と近隣病院や競合病院と比較することで、自院の経営や診療に活かすベンチマーク分析を実施している病院が多いことから、データが収斂しているものと推測される。

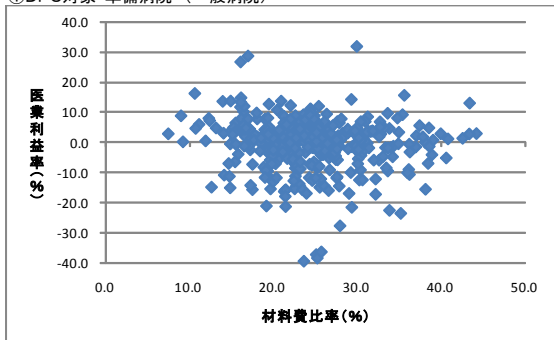
平均在院日数は、D P C対象・準備病院がD P C適用無に比較して、短い所に分布しており、医療法人の医業利益率においては、D P C対象・準備病院は在院日数が短いほど医業利益率が高い傾向がある。患者1人1日当たり入院収益では、D P C対象・準備病院がD P C適用無に比較し、高い部分に分布している。

図表 II-41 D P C適用の有無別比較散布図（病床利用率）

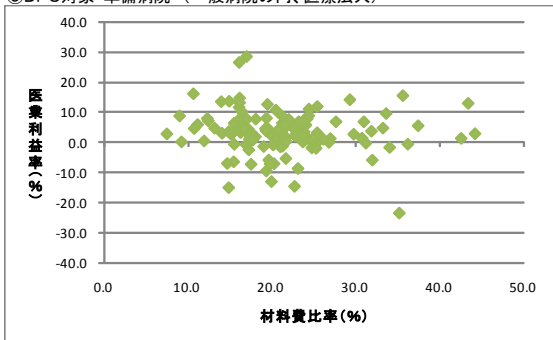


図表 II-42 D P C適用の有無別比較散布図（材料費比率）

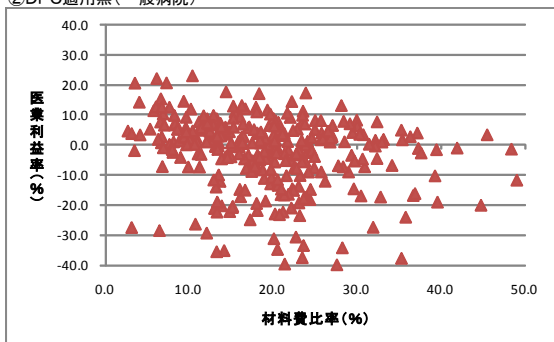
①DPC対象・準備病院（一般病院）



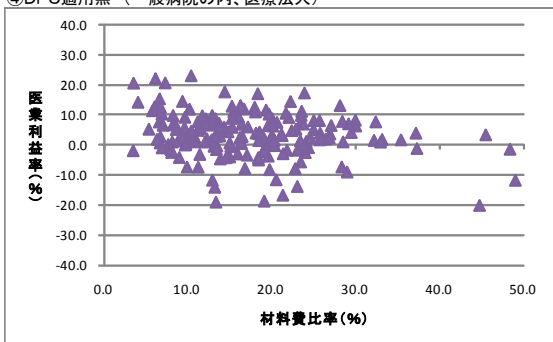
③DPC対象・準備病院（一般病院の内、医療法人）



②DPC適用無（一般病院）

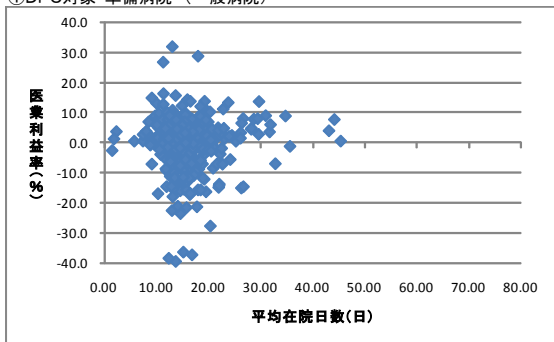


④DPC適用無（一般病院の内、医療法人）

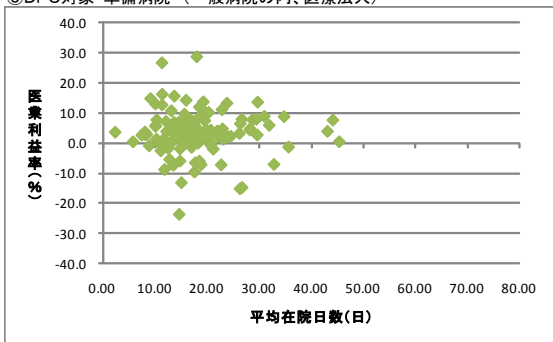


図表 II-43 D P C適用の有無別比較散布図（平均在院日数）

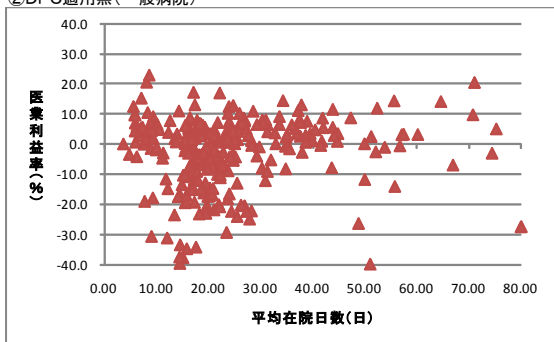
①DPC対象・準備病院（一般病院）



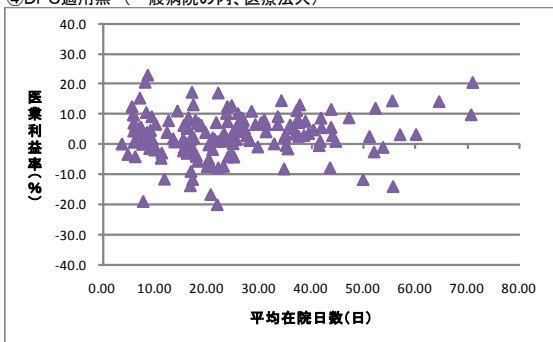
③DPC対象・準備病院（一般病院の内、医療法人）



②DPC適用無（一般病院）

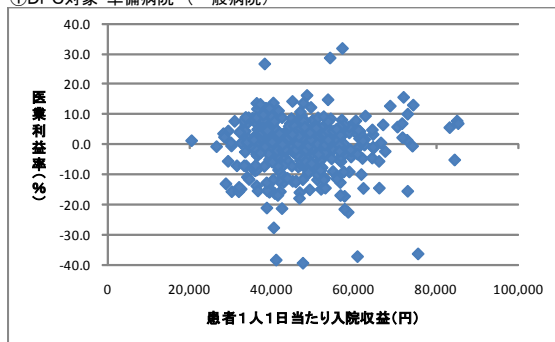


④DPC適用無（一般病院の内、医療法人）

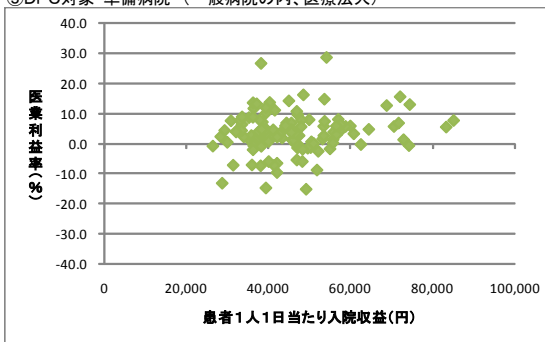


図表 II-44 DPC適用の有無別比較散布図（患者1人1日当たり入院収益）

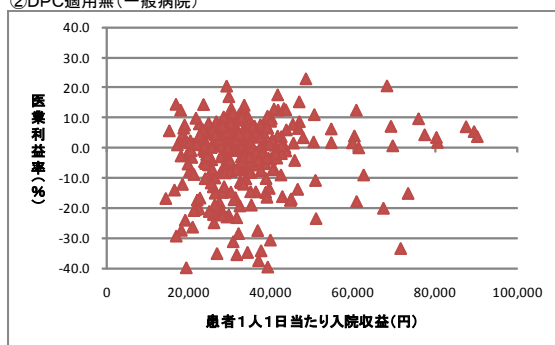
①DPC対象・準備病院（一般病院）



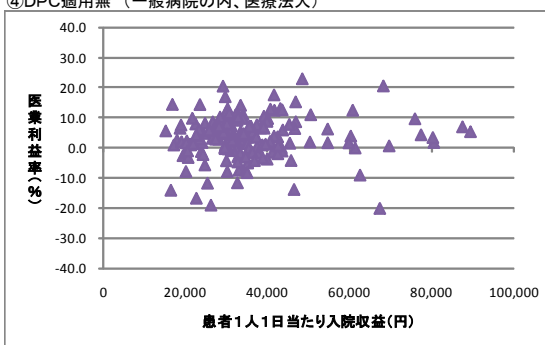
③DPC対象・準備病院（一般病院の内、医療法人）



②DPC適用無（一般病院）



④DPC適用無（一般病院の内、医療法人）



### (3) D P C適用区分別、病床規模別比較

病床規模別に分類し、D P C適用の有無について医業利益率について比較すると全ての病床規模でD P C対象・準備病院がD P C適用無の病院を上回る結果となった。

D P C対象・準備病院の病床規模による比較では、20床以上49床以下の規模の小さい病院が最も医業利益率が高い結果である。平均在院日数が短いことや患者1人当たり入院収益が高いことが要因として考えられる。規模が小さい病院は、総資本回転率も高いことから、自院の強みを活かし専門特化して小回りのきく効率的な経営が出来ているものと推測される。

図表 II-45 D P C適用の有無別比較・病床規模別比較 (D P C対象・準備)

		一般病院					
		DPC対象・準備病院					
		20床以上 49床以下	50床以上 99床以下	100床以上 199床以下	200床以上 299床以下	300床以上 399床以下	400床以上
(病院数)	(7)	(20)	(64)	(61)	(98)	(171)	
(平均病床数)	(38.3)	(74.4)	(154.2)	(249.6)	(338.1)	(565.8)	
<b>収益性</b>							
医業利益率	(%)	4.3	3.8	0.8	-0.2	-1.0	-1.8
総資本医業利益率	(%)	6.5	4.6	0.5	0.2	0.0	-0.3
経常利益率	(%)	5.1	3.9	1.8	1.7	1.8	3.0
病床利用率	(%)	70.1	82.1	75.6	75.9	76.8	77.5
固定費比率	(%)	61.8	61.8	65.6	64.1	63.1	62.1
材料費比率	(%)	20.5	20.3	19.7	23.2	24.8	26.9
医薬品費比率	(%)	8.4	10.0	11.1	13.2	14.0	16.2
人件費比率	(%)	51.4	52.1	54.6	54.0	52.1	51.4
委託費比率	(%)	5.4	5.4	6.4	6.1	7.1	7.3
設備関係費比率	(%)	9.7	8.8	9.6	8.9	9.5	9.3
経費比率	(%)	7.8	8.0	7.7	6.5	6.1	5.5
総資本回転率	(%)	120.5	121.3	102.2	100.1	88.5	83.6
医師人件費比率計	(%)	11.9	10.8	13.4	13.8	13.2	13.2
看護師人件費比率計	(%)	13.3	17.2	18.7	19.1	19.1	19.8
その他職員人件費比率計	(%)	16.9	14.6	14.3	12.5	12.0	9.9
常勤医師1人当たり人件費	(千円)	19,854	18,555	16,859	18,227	17,734	14,729
常勤看護師1人当たり人件費	(千円)	4,495	4,694	4,616	4,756	4,978	5,255
職員1人当たり人件費	(千円)	6,716	6,008	6,600	7,060	7,286	7,600
職員1人当たり医業収益	(千円)	13,354	11,754	12,198	13,318	14,085	14,979
<b>機能性</b>							
平均在院日数	(日)	10.31	17.67	19.48	16.51	16.75	14.57
外来/入院比	(倍)	5.72	2.62	2.19	1.83	1.69	1.79
1床当たり1日平均入院患者数	(人)	0.70	0.82	0.76	0.76	0.77	0.78
1床当たり1日平均外来患者数	(人)	3.46	2.09	1.53	1.33	1.29	1.33
患者1人1日当たり入院収益	(円)	64,643	48,658	45,533	46,142	47,098	54,053
外来患者1人1日当たり外来収益	(円)	11,112	12,552	12,533	12,603	12,626	13,278
医師1人当たり入院患者数	(人)	3.59	6.25	5.46	5.30	5.07	3.89
医師1人当たり外来患者数	(人)	14.89	13.18	10.34	9.22	8.15	6.59
看護師1人当たり入院患者数	(人)	0.79	0.98	1.02	1.01	1.00	0.92
看護師1人当たり外来患者数	(人)	3.69	2.28	2.01	1.80	1.66	1.57
職員1人当たり入院患者数	(人)	0.31	0.42	0.49	0.53	0.53	0.51
職員1人当たり外来患者数	(人)	1.39	0.94	0.97	0.92	0.89	0.87

図表 II-46 D P C適用の有無別比較・病床規模別比較（D P C無）

		一般病院					
		DPC適用無					
		20床以上 49床以下	50床以上 99床以下	100床以上 199床以下	200床以上 299床以下	300床以上 399床以下	400床以上
(病院数)		(92)	(120)	(112)	(29)	(16)	(8)
(平均病床数)		(37.8)	(72.7)	(145.4)	(250.6)	(322.4)	(433.6)
<b>収益性</b>							
医業利益率	(%)	-3.3	-6.7	-9.4	-9.3	-11.7	-5.9
総資本医業利益率	(%)	1.9	-10.9	-7.0	-5.6	-7.6	-9.4
経常利益率	(%)	3.2	1.3	-1.6	-0.8	-2.6	1.5
病床利用率	(%)	71.1	73.3	71.0	68.9	64.1	73.8
固定費比率	(%)	68.6	71.7	74.2	70.2	74.6	62.9
材料費比率	(%)	17.6	18.6	18.5	24.1	22.5	28.5
医薬品費比率	(%)	11.3	11.7	10.8	15.1	13.9	18.7
人件費比率	(%)	60.2	62.2	64.7	60.7	62.3	55.3
委託費比率	(%)	6.7	7.2	7.7	8.1	8.8	7.4
設備関係費比率	(%)	7.6	8.2	8.3	7.6	10.7	6.7
経費比率	(%)	11.6	8.9	9.0	7.5	6.3	5.8
総資本回転率	(%)	101.2	108.4	105.0	129.0	105.6	163.3
医師人件費比率計	(%)	12.7	13.8	14.6	13.7	13.5	11.5
看護師人件費比率計	(%)	19.0	20.1	21.9	21.5	23.3	21.0
その他職員人件費比率計	(%)	14.8	18.5	17.9	14.9	14.2	12.0
常勤医師1人当たり人件費	(千円)	18,162	19,756	18,815	16,077	16,014	15,646
常勤看護師1人当たり人件費	(千円)	4,738	4,833	5,091	5,029	5,088	5,431
職員1人当たり人件費	(千円)	6,890	6,633	7,169	7,444	7,341	8,085
職員1人当たり医業収益	(千円)	11,994	11,264	11,348	12,491	12,096	14,770
<b>機能性</b>							
平均在院日数	(日)	24.72	50.47	40.24	40.76	24.78	23.16
外来/入院比	(倍)	4.09	2.33	1.94	1.85	1.47	1.74
1床当たり1日平均入院患者数	(人)	0.71	0.73	0.71	0.69	0.64	0.74
1床当たり1日平均外来患者数	(人)	2.51	1.57	1.28	1.21	0.94	1.32
患者1人1日当たり入院収益	(円)	35,429	31,830	35,296	37,838	36,341	39,015
外来患者1人1日当たり外来収益	(円)	8,907	10,616	9,621	10,429	10,882	12,618
医師1人当たり入院患者数	(人)	5.17	6.95	7.32	7.07	6.51	6.31
医師1人当たり外来患者数	(人)	15.77	13.29	12.13	10.84	8.93	10.67
看護師1人当たり入院患者数	(人)	1.03	1.34	1.24	1.17	1.11	1.16
看護師1人当たり外来患者数	(人)	3.55	2.68	2.13	1.98	1.57	1.94
職員1人当たり入院患者数	(人)	0.48	0.57	0.58	0.59	0.57	0.64
職員1人当たり外来患者数	(人)	1.56	1.16	1.02	1.01	0.84	1.06

#### (4) DPC適用区分別、一般病棟入院基本料別比較

DPC対象・準備病院の一般病棟入院基本料の7対1と10対1の違いについて、比較を実施した。DPC対象・準備病院の一般病棟入院基本料では、全体で7対1が75%・10対1が25%であり、7対1の病院数が多く、開設主体別においても全て7対1の方が多い結果である。

看護師人件費比率は、社会保険関係団体を除いて、7対1が高い結果であるが、常勤看護師1人当たり人件費においては、全体では同水準の給与であり、7対1と10対1の違いは見られない。

医療法人と自治体病院の医業利益率を見ると、10対1が7対1に対し高くなっており手厚い看護体制と収益向上を両輪で達成していくことは難しいものと推測される。

図表 II-47 DPC対象・準備病院の一般病棟入院基本料別比較

	一般病院										
	全病院		医療法人		自治体		社会保険関係団体		その他公的		
	7対1	10対1	7対1	10対1	7対1	10対1	7対1	10対1	7対1	10対1	
(病院数)	(317)	(104)	(85)	(43)	(130)	(46)	(29)	(2)	(73)	(13)	
(平均病床数)	(386.7)	(328.4)	(233.0)	(200.7)	(462.5)	(429.8)	(352.7)	(410.5)	(444.3)	(379.7)	
<b>収益性</b>											
医業利益率	(%)	-0.9	0.2	2.8	4.7	-5.7	-4.1	1.1	-3.0	2.1	2.0
総資本医業利益率	(%)	0.1	0.6	2.9	5.7	-3.3	-3.8	1.4	-15.4	2.5	2.0
経常利益率	(%)	2.4	2.4	2.9	4.5	2.0	0.5	1.8	-3.3	2.7	3.7
病床利用率	(%)	76.7	77.5	79.9	79.2	75.1	76.3	71.9	61.2	78.0	78.6
固定費比率	(%)	63.1	63.3	61.9	61.2	66.6	66.3	60.8	63.5	59.5	59.0
材料費比率	(%)	24.8	23.0	21.5	21.0	25.8	23.7	25.2	23.0	26.6	27.1
医薬品費比率	(%)	14.4	13.1	10.8	10.4	15.0	13.9	16.2	12.8	16.6	18.4
人件費比率	(%)	52.5	52.5	51.9	51.4	54.7	54.4	50.5	53.4	50.1	49.2
委託費比率	(%)	6.9	6.6	5.6	4.7	8.3	8.7	6.3	8.1	6.3	4.9
設備関係費比率	(%)	9.4	9.2	9.1	8.7	9.8	9.7	9.9	10.0	8.8	9.0
経費比率	(%)	6.1	6.8	7.5	8.0	5.8	5.9	5.8	7.9	5.1	6.0
総資本回転率	(%)	91.5	93.6	127.8	108.9	70.1	74.5	101.8	201.4	87.9	88.8
医師人件費比率計	(%)	13.0	13.6	13.0	13.9	13.5	13.6	12.5	14.9	12.7	12.0
看護師人件費比率計	(%)	19.5	18.0	17.6	15.5	21.3	20.4	18.4	18.5	19.2	17.5
その他職員人件費比率計	(%)	11.4	12.9	13.6	14.9	10.5	10.7	12.0	12.4	10.3	14.1
常勤医師1人当たり人件費	(千円)	16,392	16,904	20,366	17,892	15,393	16,255	13,755	14,521	14,693	16,524
常勤看護師1人当たり人件費	(千円)	4,998	4,924	4,782	4,423	5,209	5,368	4,831	4,990	4,976	4,897
職員1人当たり人件費	(千円)	7,212	7,180	6,463	6,238	7,780	8,012	6,873	7,677	7,221	7,119
職員1人当たり医業収益	(千円)	13,924	13,917	12,562	12,465	14,437	14,971	13,783	14,645	14,628	14,620
<b>機能性</b>											
平均在院日数	(日)	15.65	17.76	18.08	19.95	14.88	15.86	14.02	14.09	14.89	17.79
外来/入院比	(倍)	1.90	2.03	2.10	2.27	1.83	1.84	1.95	2.09	1.78	1.94
1床当たり1日平均入院患者数	(人)	0.77	0.77	0.80	0.79	0.75	0.76	0.72	0.61	0.78	0.79
1床当たり1日平均外来患者数	(人)	1.39	1.53	1.53	1.69	1.29	1.40	1.39	1.14	1.39	1.53
患者1人1日当たり入院収益	(円)	52,293	42,640	55,424	41,807	52,497	43,649	45,714	49,744	51,164	40,449
外来患者1人1日当たり外来収益	(円)	13,460	10,991	14,702	10,345	12,666	11,112	13,324	10,751	13,480	12,596
医師1人当たり入院患者数	(人)	4.49	5.39	5.18	5.93	4.15	4.79	4.22	4.04	4.43	5.94
医師1人当たり外来患者数	(人)	7.82	9.95	8.80	10.84	7.15	8.77	8.01	9.04	7.84	11.27
看護師1人当たり入院患者数	(人)	0.91	1.13	0.97	1.23	0.89	1.05	0.92	0.92	0.89	1.09
看護師1人当たり外来患者数	(人)	1.63	2.15	1.78	2.42	1.53	1.93	1.78	1.90	1.59	2.08
職員1人当たり入院患者数	(人)	0.49	0.56	0.45	0.53	0.51	0.59	0.48	0.50	0.49	0.57
職員1人当たり外来患者数	(人)	0.86	1.05	0.80	1.00	0.88	1.08	0.92	1.03	0.88	1.08